

1. 件名：「志賀原子力発電所2号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（65）」

2. 日時：令和5年1月26日（木）16時00分～18時39分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：野田企画調査官、海田主任安全審査官、宮脇安全審査専門職、大井安全審査専門職

北陸電力株式会社：小田常務執行役員、藤田執行役員 他8名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<本年1月24日提出済>

- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地の地質・地質構造について
- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地の地質・地質構造について 敷地内断層の活動性評価（コメント回答）
- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地の地質・地質構造について 補足資料（1/2）
- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地の地質・地質構造について 補足資料（2/2）

<本年1月11日提出済>

- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地の地質・地質構造について 参考資料
- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地の地質・地質構造について データ集1（ボーリング柱状図）
- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地の地質・地質構造について データ集2

(ボーリングコア写真)

- ・ 志賀原子力発電所 2号炉 敷地の地質・地質構造について データ集 3
(BHTV)
- ・ 志賀原子力発電所 2号炉 敷地の地質・地質構造について データ集
(その他)
- ・ 志賀原子力発電所 2号炉 適合性審査コメントリスト【敷地の地質・
地質構造】

時間	自動文字起こし結果
0:00:08	お疲れ様です。原子力規制庁の大井です。
0:00:11	それでは時間になりましたので、北陸電力とのヒアリングを開始したいと思います。
0:00:17	本日は志賀原子力発電所 2 号炉、敷地の地質地質構造についてということで資料はですね、1 月 24 日に、
0:00:28	出された資料、提出された資料。
0:00:31	をもとに、主に基づいてですね、
0:00:36	行いたいと思います。
0:00:37	それではですね北陸電力の方から説明をお願いいたします。
0:00:44	北陸電力の藤田です。本日はよろしくをお願いいたします。
0:00:47	今回は前回からの変更点を含めて、御所を中心にご説明したいと思います。
0:00:53	説明は巢守の方から 15 分程度で行いたいと思いますよろしく申し上げます。
0:01:00	栗城電力の巢守です。本日はよろしくをお願いいたします。
0:01:04	まず初めに資料の確認をさせていただきます。
0:01:08	本日は少し多いですが 11 件ございます。
0:01:10	内訳としましては、本資料、コメント回答資料、
0:01:14	補足資料が 2 分冊、
0:01:17	参考資料。
0:01:18	データ集 1 に、
0:01:20	そしてデータ集 3 が 2 分冊、
0:01:23	データ集その他。
0:01:24	コメントリストとなっております。
0:01:28	本日は、前回 12 月 21 日のヒアリングでの事実確認の内容を含めて、全体としてわかりやすくなるように、仕様内容の充実化を図っておりますので、前回からの主な変更点についてご説明いたします。
0:01:41	説明は全体として 15 分程度でございます。
0:01:45	それではまず、本資料からご説明いたします。
0:01:49	最初は本資料の目次前における変更点についてご説明します。
0:01:54	本資料の 4 ページをお願いいたします。
0:02:00	こちらは敷地の地質地質構造の資料の全体構成になっておりまして、
0:02:05	前回ヒアリングでは、本資料の 3 章と 4 章に対応する補足資料はありませんでしたが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:12	今回、本資料を整理する中で、新たに補足資料の3章、4章を追加しております。
0:02:18	また、補足資料5の5行目ですけれども、有識者会合の評価を踏まえた調査検討結果等と追記しております、
0:02:26	過去に説明済みのデータも含めて、補足資料5のほうに整理しております。
0:02:32	右側の参考資料は、5章のみで、1から4章は欠番となっており、資料名から、資料の位置付けがわかりづらくなっていたため、今回、資料名を、参考資料5-5をとって、参考資料と変更しております。
0:02:48	次に5ページをお願いいたします。
0:02:52	こちらは敷地の地質地質構造の評価概要を1ページにまとめたものになりまして、
0:02:57	次ページ以降に青字で記載している補足①から⑳さんの説明資料を示しております。
0:03:04	こちらの補足のページについては、前回ヒアリング以降、わかりやすさの観点から、図表の拡大や追加等を行い、内容を充実させております。
0:03:14	あわせて、各補足のページで出力がわかるように記載の追加も行っております。
0:03:20	例えば、この15ページの評価概要に赤字で記載している、敷地内断層、36本と書いてありますけれども、この記載を、10ページの
0:03:30	補足⑤、
0:03:32	の方に記載しております。
0:03:35	その他に、5ページの重要施設の直下にある断層22本という記載を、
0:03:41	12ページの補足⑦の方にも追記しております。
0:03:47	またですね、評価対象断層10本という記載につきましても、これは14ページから16ページの補足⑨から⑪の方にも追記しております。
0:04:01	5ページに戻っていただきまして、
0:04:03	一番下の四角の5章につきまして、
0:04:07	これまで鉱物脈法から上載地層法という流れで、説明、資料に示しておりますけれども、
0:04:13	目次以降の主要構成に合わせて、上載地層法の次に、鉱物脈法という順番に並び替えております。
0:04:20	以降に掲載している補足説明資料についても、同様の並び方に変えております。
0:04:27	次に6ページをお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:31	図 1、図 2 に、敷地境界を加筆しておりますが、
0:04:35	これは原子炉建屋等を含めた周辺監視区域に相当する範囲を示しており、
0:04:40	設置許可設置変更許可申請書における大坪川ダム周辺を含む、当社の所有地の範囲を示す敷地とは異なることを、図の右の米印の方に記載しております。
0:04:53	また敷地前面海岸部は、敷地には含まれておりませんが、重要な安全機能を有する施設である取水炉が地下に位置していることから、敷地前面海岸部で確認された断層は、敷地内断層として扱うことについても、あわせて記載しております。
0:05:08	次に 35 ページをお願いします。
0:05:14	こちら敷地の地質地質構造の評価概要の所則の最後のページになっておりまして、
0:05:19	今回活動性評価のまとめのページを追加しております。
0:05:23	本資料の目次前における変更点は以上になります。
0:05:27	続いて、本資料の目次以降における変更点についてご説明いたします。
0:05:33	2-16 ページをお願いします。
0:05:40	こちら敷地の地質断面図の E' 断面になりますが、
0:05:45	断面図の右上に紫色で示す範囲の地形面が、2 号機建設前の地形面となっておりますので、現況の整地した地形面に合わせて修正しております。
0:05:56	次に 3-2 ページをお願いします。
0:06:04	前回ヒアリングでは、敷地内断層一覧表で、各断層が、重要施設の直下にあるかどうかを示しておりましたが、
0:06:11	今回、重要施設を耐震重要施設と重大事故等対処施設に、細かく分けて、それぞれの直下にある断層を整理しております。
0:06:20	次にページ、3-3 ページをお願いします。
0:06:25	海岸部の断層と主水路との位置関係がわかる断面図を示しております。
0:06:30	また、右下の米印に、取水炉進藤付近に認められない K17、K18、K20、21、K25 について、
0:06:39	調査位置が、取水領域から離隔していることによる不確かさを考慮して、重要施設の直下にあると評価したことについても記載しております。
0:06:48	今週における変更点は以上になります。
0:06:52	続いて、コメント回答資料における変更点についてご説明いたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:58	コメント回答資料の4ページをお願いいたします。
0:07:05	コメント回答の概要になっておりまして、右から2列目の回答概要の欄には、
0:07:10	コメントに対応して行った調査検討の目的について、記載してあるものがないものがあり、統一されておりましたので、今回記載を統一しております。
0:07:21	次に8ページをお願いします。
0:07:26	コメントNo. 129-7 炉年敷地の粘土鉱物の組成についてになります
0:07:32	左下の図は、EPMA分析の結果をプロットしたものにりますが、
0:07:37	ルII IIIの含有量が少ない地点として、右の表に示す3地点が認められます。
0:07:43	ただしこれらの地点については、同じ資料、或いは近接する地点で、XRD分析を行い、粘土鉱物であることを確認しておりますので、そのデータへの紐付けを、表の下の※3の方に記載しております。
0:07:57	次に13ページをお願いします。
0:08:02	コメントNo. 130の福浦断層の粘土鉱物についてになります。
0:08:08	福浦断層のイライト混合率に関するデータを追加した結果、
0:08:12	福浦断層のイライト混合率について、どのように評価したのか、明確にするために、上の黄色四角を、
0:08:18	福浦断層全体のイライト混合率が、敷地よりも小さい傾向は認められず、
0:08:23	敷地周辺一帯は、同じような環境下で変質をこうむったと判断したと記載しております。
0:08:30	次に19ページをお願いします。
0:08:36	コメントNo. 131のS4、35メートル盤トレンチのブロックサンプリングについてになります。
0:08:43	ブロック試料でのCT画像観察で認められる相対的な高密度部についての説明を、右の四角に追記しており、ここで二つの件、二つの考察を行っております。
0:08:55	まず一つ目が、破碎部の可能性についての考察です。
0:08:59	S4の主せん断面に沿って分布する相対的な高密度分については、
0:09:04	その内部に変形構造が確認できませんが、
0:09:07	周辺岩盤の観点を取り込むとともに、細粒となっている状況が認められることから、S4の固結した破碎部の可能性があります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:16	二つ目が、密度の工程についての考察です。
0:09:21	地表部の風化の影響が小さい地下深部の断層破碎部のCT画像では、
0:09:26	破碎部は周辺岩盤よりも暗い色調、つまり低密度を呈しますが、
0:09:31	本ブロックのCT画像では、S4の主せん断面に沿って、周辺岩盤より明るい色調、つまり高密度呈します。
0:09:40	これは、S4の断層活動に伴って、周辺岩盤が細粒化し、その後、固結緻密になり、風化の影響を受けにくくなったためと考えられます。
0:09:50	一方、相対的な高密度部の周辺岩盤は、
0:09:53	風化による溶脱作用の影響を受けて密度となっております。
0:09:58	また、上のCT画像中の右下の明るい色調を呈する部分は、流入粘土であることを追記しております。
0:10:07	次に22ページをお願いします。
0:10:12	35メートル盤トレンチ新北面の取り込み後の壁面観察で認められる。
0:10:17	黒色被膜が多く認められる帯状の部分についての説明を追記しております。
0:10:23	壁面拡大写真と同じ範囲のスケッチを次ページに掲載しており、
0:10:28	スケッチで緑色の帯状の部分に黒い色のハッチを書いた箇所に黒色被膜が認められ、
0:10:34	S4の主せん断面は、この黒色被膜が多く認められるとビジョンの部分の西縁の直線的な境界として認められます。
0:10:43	この帯状の部分は、厚さ約2センチメートルで分布し、空間により軟質化した周辺の岩盤よりやや高塚細粒となります。
0:10:54	この黒色被膜が多く認められる帯状の部分が、破碎部である可能性の考察を、
0:10:58	前ページ22ページの右下の四角のほうに追記しております。
0:11:05	S4の主せん断面に沿って分布する黒色被膜が多く認められる帯状の部分については、
0:11:11	この内部に変形構造は確認できませんが、
0:11:13	周辺岩盤より細粒化しており、S4の主せん断面と斜交する方向に配列する微細な割れ目が多いことから、
0:11:21	S4の固結した破碎部の可能性があります。
0:11:24	なおこの部分は、19ページのCT画像観察において確認された、S4の主せん断面に沿って分布する相対的な高密度部に対応するものと考えられます。
0:11:37	次に25ページをお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:41	コメントNo. 132の福田断層における白色脈の切断状況についてになります。
0:11:48	前回のヒアリングでは、右下の写真④に、28ページの拡大写真を掲載しておりましたが、
0:11:56	今回、より説明性の高い20、29ページの拡大写真の方に変更しております。
0:12:04	また25ページの写真③、④について、観察事実と解釈に分けて記載しております。
0:12:12	写真③では、母岩中に認められる白色脈は、いずれも主せん断面途切れるという観察事実から、
0:12:20	鉬物脈は主せん断面に切られていると判断しており、
0:12:23	S4、失礼しました。写真④では、母岩中に認められる海食脈が破碎部中に破碎された、断片として取り込まれているという観察事実から、
0:12:34	鉬物脈に変位変形が認められると評価しております。
0:12:39	次に32ページをお願いします。
0:12:45	コメントNo. 133-セラドナイトのカリウムアルゴン年代分析データについてになります。
0:12:52	セラドナイトの生成温度を6度から84度としている文献データを今回追加しております。
0:12:59	文献データの表において、赤線を加筆したデータがセラドナイトの結果になります。
0:13:06	次に37ページをお願いします。
0:13:11	コメントNo. 135の計18の攻略法による評価についてになります。
0:13:17	粘土鉬物イライトスメクタイト混合層が割れや最新の再利用に高角度で分布すると記載しており、右の詳細観察範囲Aの写真に、
0:13:28	最新面や割れ目のトレースを加筆しております。
0:13:32	コメント回答資料における変更点は以上になります。
0:13:37	続いて、補足資料に関する変更点をご説明いたします。
0:13:41	補足資料2分の2をお願いします。
0:13:50	補足資料2分の2の5.3-1-26ページをお願いします。
0:13:57	5.3-25で3-1-26ページです。
0:14:07	こちら5.3-1-26ページですけれども、
0:14:10	敷地の安山岩に関する化学分析結果に関して、二つ変更点がございます。
0:14:17	まず一つ目は、図のプロット位置の適正化になります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:21	この 5.3-1-26 ページの表の化学分析データをもとに、以降の 5.3-1-27 から 29 ページへ野末プロットしております。
0:14:33	例として、5.3-1-27 ページの図でご説明いたしますが、
0:14:38	各図中に一つずつ、米印をつけたプロット点があります。
0:14:43	これは前ページの表の 1-9-1 のプロット点になりまして、
0:14:49	前回ヒアリングでは、プロット位置が表と合っておりませんでしたので、今回プロット位置を適正化しております。
0:14:57	次に二つ目は、資料のわかりやすさの観点からの追記になります。
0:15:02	5.3-1-26 ページの表で、米印をつけた六つデータがございますけれども、
0:15:08	これらにつきましては、カリウムアルゴン年代分析において、変質が顕著であることなどから、分析結果の精度に影響があることを踏まえて、形成年代の推定に用いないことを、
0:15:19	2018 年 7 月の第 597 回審査会合で、
0:15:24	説明した資料となっております。
0:15:26	ただ、前回ヒアリングでは、その旨の記載が、こちらにありませんでしたので、今回追記しております。
0:15:33	この 6 データにつきましても、5.3-1-27 から 29 ページの図でわかるように示しており、
0:15:41	こちらも例として、5.3-1-27 ページの図でご説明しますけれども、
0:15:46	赤丸のプロット点のうち、黒線で縁取ったプロット点が、
0:15:51	敷地の安山岩の形成年代等の推定に用いていない、六つのデータになります。
0:15:58	今ほど申しました、二つの変更点を踏まえましても、こちらの結果となります安山岩の分類に影響をありません。
0:16:08	次に、5. 17-1-1 ページをお願いします。
0:16:14	5. 17-1-1 ページです。
0:16:26	こちら本資料の、本資料の冒頭でも触れましたが、補足資料 5. 17-1 に、U 社会合の評価を踏まえた調査検討について整理しております。
0:16:37	今回 5. 17-1-7 から 28 ページの方に、S1 に関する調査検討結果、
0:16:45	5. 17-1-29 から 66 ページに S2S6 に関する調査検討結果を、過去の資料から抜粋、一部修正して追加しております。
0:16:56	資料についてのご説明は以上になります。
0:17:03	はい。ご説明ありがとうございました。
0:17:05	それではですね

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:07	規制側、審査側の方からコメントございましたら、よろしくお願いいたします。
0:17:43	規制庁海田です。ちょっと私の方からまず何点か、
0:17:52	まとめの本編のところから、
0:17:57	行きますけれども、
0:18:02	まずは、
0:18:13	ちょっと冒頭の概要的なところ、前回からちょっと補充されたところで、幾つか確認、まずその辺りで確認したいところがあるんですけども、
0:18:27	これ確認というよりはこういった形の方がわかりやすいという観点でなんですけど、
0:18:35	まず
0:18:36	10、
0:18:39	8 ページ。
0:18:40	なんですけれども、
0:18:44	ちょっとこの前のページまでが、
0:18:47	上載地層法に用いる地層の年代評価っていうところで、
0:18:53	書いてあって、
0:18:56	次に変質鉱物の同定というところで、
0:19:02	ちょっといきなりこう変質鉱物の同定の話っていうか各論的なところに入ってるんで、
0:19:11	ちょっとそこの前に説明みたいなのがあった方がいいかなと思ってまして。
0:19:17	例えば、5 の、
0:19:22	50、
0:19:24	6 ページとか、
0:19:27	5 の、
0:19:30	5-57 ページみたいな。
0:19:34	のがあって、
0:19:36	まずは、鉱物脈法で、
0:19:41	兵
0:19:43	最新面みたいなものに着目してそこで変質鉱物みたいなものを、
0:19:50	見つけると、それを同定したらどうなのかという鉱物脈法、
0:19:57	ちょっと方法論的なものがあってさっきみたいな、18 ページのような、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:04	じゃあその9変質鉱物はどう同定されるのかっていう、
0:20:08	ところに繋がっていきやすいかなと思ったんですけども。
0:20:15	あと
0:20:18	そのあたりちょっとこう、なんかこう鉱物脈法とこういうことで評価してますっていうのをちょっと前段に入れてこの18ページに入った方がわかりやすいんで何かその辺りちょっと、
0:20:30	先ほど申し上げたようなところを、こう入れ込むなり工夫とかできないかなというところなんですけどいかがですか。
0:20:40	はい北陸電力の野原です。
0:20:42	今までのご趣旨わかりましたしいきなり18ページの変質鉱物の動で同定というのは、確かにちょっといきなり言い過ぎる印象ございますので、
0:20:53	今ほど言われました5-56ページとか57ページのようなものを、その前に入れ込みまして、鉱物脈法の
0:21:02	紹介なり、説明をした上で、
0:21:04	この18ページに入っていくというような構成に変えたいと思います。
0:21:08	以上です。
0:21:11	はい。海田です。その点
0:21:14	よろしくお願いします。
0:21:16	あと、あ、すいません。どうぞ。北陸電力藤田ですけども。
0:21:22	今海田さん。
0:21:23	ご趣旨はわかりやすいところで私もそのように修正したいと思うんですけども、ページを1枚入れるっていうような趣旨でよろしいんですけども。
0:21:31	こういう字幕方の家を紹介の文章でに作業を書くっていう趣旨で、
0:21:36	おっしゃってるのかそこだけ確認させていただきますか。
0:21:39	海田です
0:21:41	7ページを1枚入れていただいて、1枚か先ほど郷の何ページっていうところを申し上げたんですけど、
0:21:49	まずはこの鉱物脈法って、やっぱりなかなか、
0:21:53	いきなりわかんないところもあるんで、まず最新面に着目して、
0:21:58	変質鉱物と最新面との関係で評価していくっていうところがわかるのが、
0:22:04	先ほど5-56とか57にあったんで、ああいったものを使って、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:09	さっきの 18 ページの前に 1 ページあたりぐらい差し込んでいただいたほうがわかりやすいかなと思っています。
0:22:20	北陸電力藤田です。趣旨確認できましたので、対応させていただきます。
0:22:26	はい、じゃあ海田ですよろしくお願いします。
0:22:29	あと、
0:22:30	ちょっとこれもまた似たような話になると思うんですけど、20 ページ以降に、S1 と、
0:22:38	S2S6S4、これちょっと代表例としてということで、
0:22:42	こちらからも、
0:22:45	そういったのがわかりやすいんじゃないかっていうところ。
0:22:49	これを例として挙げられてると思うんですけども、
0:22:55	これもですねちょっと
0:22:57	S1S2S6S4、
0:23:01	と、この三つが出てきているというところが、いきなり S1 っていうの入ってるんで、
0:23:10	そこも、
0:23:11	例えば幸福上載法と鉱物脈法両方で評価できてる。
0:23:16	ものとしてこの三つを例として挙げるみたいな、ちょっと前ふりのようなもの。
0:23:22	言葉があった方がわかりやすいかなと思いました。それで何か工夫していただきたいなと思います。
0:23:31	それとあと、
0:23:33	例えば S1 で、
0:23:34	申し上げますと 20 ページなんですけど、
0:23:39	この
0:23:40	ちょっと冒頭の概要が、ちょっとあっさりししてて、
0:23:47	冒頭 20 ページで 20 ページに、概要、
0:23:51	21 ページ 22 ページ、上載法と、
0:23:55	鉱物脈法が入ってるんですけども、
0:23:59	20 ページの記載は
0:24:04	1 ページでわかるようになっていうところの話もあったのでこういった
0:24:09	ものも作ってあるかなと思うんですけども、
0:24:14	場合によっては最後のまとめとかを活用してもいいんじゃないかなって いうふうになら、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:21	思いました。
0:24:23	例えば、5-300、
0:24:26	スイッチだったら5-300、
0:24:30	3でしたっけ。
0:24:33	303と。
0:24:39	はい。5-303で304。
0:24:44	あたり、2枚にはなるんですけどもこの2枚に、
0:24:48	この304の余白の部分を使って、今、
0:24:54	20ページに入れられてるような表をつけて、
0:24:58	の方がS1の評価、全体がどうなってるかっていうのは、
0:25:04	わかりやすいかなと思ひまして、
0:25:07	そういったものにまとめて差し替えてもいいんじゃないかなというふう に、
0:25:12	思ってますけれども、あとSES6も同じですし、S4も、
0:25:19	S4なんかも
0:25:22	もうどっかについてたんで、この300、
0:25:25	ページ以降ぐらいのところのものを、
0:25:28	使って、同じようにされ、して、
0:25:32	まとめのページっていうのを説明していただきたいんですけど。
0:25:37	この辺り可能でしょうか何かちょっとそのまま持ってくと都合が悪いと いうことであればちょっとそこは何か調整が必要になるかと思うんです けれども。
0:25:51	はい。北陸電力の野原です。
0:25:54	まず1点目の、20ページの前になぜこのS1S2S6S4、
0:26:00	を例示してるかと。
0:26:03	ということについてですがここにつきましては加藤さんおっしゃったよう に上載地層と鉱物脈両方で評価できているものの代表ということを、こ の20ページの頭の方に、
0:26:13	文章で、追記していきたいというふうに思っております。
0:26:18	2点目のまとめを活用してはどうかという点につきましてはですが、これ につきましてはおっしゃった通り、後半の部分の
0:26:28	S1でしたら例えばP5-307。
0:26:31	今の20ページの、
0:26:35	前段の方にも、前に持った前から踏まえに持ってきてまして、
0:26:39	5-308ページの余白の部分に今の20ページの一覧表を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:45	入れると。
0:26:46	ちょっとこの辺順番、考えますが、この2ページを今の前段のまとめの方に持ってくるなどして、構成の方、検討したいと思います。
0:26:56	以上です。
0:26:59	海田です。あ、わかりましたじゃその辺りちょっと、
0:27:02	検討の方をよろしくお願いします。
0:27:07	ちょっとそれでまたページ飛びまして30ページをお願いします。
0:27:17	30ページなんですけどこれちょっと
0:27:20	今ちょっとこうせいという言わな内容の話になっちゃうんですけども、
0:27:27	一番下の反射断面、これ今まで何度か
0:27:30	見てきた図なんですけれども、
0:27:33	ちょっと福浦断層の位置が、この
0:27:36	これで合ってるのかっていうところが、ちょっと疑問が出てきてまして。
0:27:45	例えば今日のコメント回答資料でいうと、
0:27:51	最初の方に、
0:27:53	何ページ3ページ分を、5ページですかね。
0:27:58	福浦断層と施設の位置関係っていうのがあって、
0:28:03	これちょ、ちょっと私の方で物差しではかってみると福浦断層から、
0:28:09	2号の建屋で、
0:28:12	下の表弱と合わせて測ってみると
0:28:15	1.0何キロとか、そのぐらい位だったんですね、おそらく1キロ。
0:28:21	ちょっと超えるぐらいかなと。
0:28:23	思ってるんですが、
0:28:25	この
0:28:26	絵のさっきの30ページ。
0:28:29	ちょっと大きい図が5-297ページにあるんですけども、
0:28:38	これでいくと
0:28:40	下の標尺とか比べてみるとやっぱり
0:28:45	福浦断層は1.4キロぐらいのところに、地表に出てくるように書かれてまして、
0:28:53	これ側線なんでちょっと斜めになってるんかなと思って296ページ前のページ、
0:29:00	その方向で測ってみても大体同じぐらいの1.4キロぐらい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:05	この上のページ、296 ページでいくと測線上で測っても 1 キロぐらい。
0:29:12	になるはず。
0:29:14	なんですけどちょっとずれてるっていうのは何か
0:29:18	何かこう、ちょっとその辺の事実関係を教えていただけないでしょうか。
0:29:34	はい。北陸電力の野原です。
0:29:37	今ほどのご指摘についてですがちょっと再度確認させていただきまして、もし、
0:29:44	この今の福浦の位置がずれているようでしたら、正しい位置に反映させていただきたいと思います。
0:29:51	まずは 1 度確認させていただきたいと思います。
0:29:54	以上です。はい海田伊佐わかりました
0:29:58	ちょっと確認の方お願いします趣旨としては、多分 1.0 何キロぐらいの、なんだけこの断面上では 1.4 キロぐらいに書いてあるので、そこを確認していただきたいという。
0:30:10	ところでもし必要があれば修正をお願いしたいと思います。
0:30:15	その上でですね。
0:30:16	297 ページの図を見て、
0:30:22	仮に今これ 1.4 で 1 キロになると。
0:30:26	大分こう近づくわけなんですけど、
0:30:29	そうすると今の福浦断層という波線が、
0:30:34	このちょうど反射断面の中にも入ってくるようになって、花崗岩状面のところとの、
0:30:40	関係とかも、にちょうどぶち当たるような、
0:30:43	ここに来る、もしそうであれば、そのあたり、
0:30:47	の、今、
0:30:49	説明は書いてあるんですけどもその辺の説明書きも、
0:30:53	何かまた
0:30:54	おそらく、
0:30:56	うん。
0:30:57	変更になるのか、ならないのか等についてもまたちょっと、
0:31:03	検討をしていただきたいなと思ってますけれども、
0:31:06	よろしいでしょうか。
0:31:10	はい北陸電力の野原です。
0:31:12	福浦断層の位置関係につきましてはもともとこれ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:17	検討してる段階では、正しい値で、
0:31:20	県と、
0:31:22	再度確認をしますが、仮に近づいた場合でも、評価結果には変わりはないのかなと思います。ただそういう点も含めまして再度確認した上で、
0:31:33	表現を改める必要があるようでしたら、反映したいと思います。
0:31:37	以上です。
0:31:39	はい海田ですわかりましたじゃちょっとまずは確認の方お願いします。
0:31:44	それであと、
0:31:46	概要の方に戻りまして 30。
0:31:50	32 ページ。
0:31:56	三十二、三十三ページにこのまとめ表があるんですけども、
0:32:01	ちょっと今日
0:32:03	コメント回答の方でいただいた一覧表、似たような表が、
0:32:08	どこかにありまして、
0:32:12	それと見た目ちょっと似てるんですけど、内容が少し、
0:32:17	違ってるので、
0:32:19	できればそのコメント回答の方に合わしていただきたいなと思ってますコメント回答だ。
0:32:27	34、
0:32:33	そう、コメント回答の 3435 ですね。
0:32:37	といいますのは
0:32:40	コメント回答の表の方を見ると例えば S1 で一番
0:32:44	なんていうか、使える有力なものっていうのが、
0:32:50	単に
0:32:52	16.7 項っていうだけじゃなくて 16.7 の①の範囲 A の最新面 1 っていうのがこの表から読み取れる状況になってます。
0:33:03	今日いただいた
0:33:06	まとめ資料の S1 のところの説明でもそういうふうに書いてあります。
0:33:11	ただこの
0:33:14	まとめ資料冒頭とあと最後の辺にも、同じ表があってそれを見ると、
0:33:20	S1 であれば、16.7 っていうところまでしかわからなくて、その
0:33:28	はい。範囲が、なのとか、
0:33:31	最新面がどうなのかっていうのはちょっと読み取れないので、
0:33:36	これもし、理由があってこういうふうになってるんならば、それは確認したいんですけどもそうでなければ、表の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:44	が同じようなものを、にしていだきたいなと思うんですけど、この辺いかがでしょうか。
0:33:52	北陸電巢守です。
0:33:54	まず、今ほどの目次前の 3233 ページと、コメント回答資料と 3435 ページとの間違いですけれども、
0:34:03	まずまとめ方としまして 32 本資料の目次前の 3233 ページの方は、上載地層法と鉱物脈法と一緒に、
0:34:12	一緒にといいますか合わせて、この一覧表のような形で見えるような形で整理しております、そういったところで、例えば、各鉱物脈のボーリングの中で、
0:34:23	薄片が何枚あって、最終面が幾つあってというところまでのちょっと詳細のデータというのは、非常にちょっと膨大なるというところで、少し割愛して、示しているというのが、実際今のまとめ方になってございます。
0:34:35	コメント回答資料の 3435 ページにつきましては、こちら今度は鉱物脈に、
0:34:41	特化したといえますか、概略を、
0:34:44	評価した。
0:34:45	各最新面ですとか細かいところまで、どのように評価したというのが、詳細にわかるように、まとめたものがこちらのページになってございます。
0:34:53	川田さんご指摘の通りですね、今ほどの本資料の方で、3330、失礼しました、60 前の 3233 ページですとか、後の、
0:35:02	まとめのところですねこの 321 ページ、322 ページの方では、最新面、各孔の中でも、どの薄片のどの最新面がというのは、おっしゃる通り読み取れないような状況に、
0:35:14	なっております。ただ本紙の中ではですね、例えば 5-77 ページ、
0:35:19	見ていただきますと、こちらは今度は S1 の、
0:35:25	S1 の鉱物脈法の評価地点を示して、
0:35:29	おりまして、
0:35:30	この中で、各孔の中でどの薄片どの、
0:35:35	範囲というところまでわかるような形で示してはおります。
0:35:40	今ほどの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:42	そういう考えで、中見ていけばどの範囲というのがわかるけれども、頭のところではちょっと上載地層と鉱物脈法というところで、ある程度まとめた示し方になってしまっているというのが、今の資料の
0:35:54	整理にはなっておりますけれども、ただここ、ボリュームを考えるとちょっとこういう整理にはなったんですが、やはり詳細にこの部分でも、同じHの、例えばS1の鉱物脈法の16.7項でも、どの薄片のどの、
0:36:07	年最新面がというところは、やはりそれぞれ細かく分かれておりますので、そういったところもわかるように何か工夫できないかなというところでちょっと表の方、工夫させていただきたいと思います。以上です。
0:36:22	はい。規制庁の海田です。わかりました。ちょっとそこら辺を、表から読み取れるように、
0:36:28	していただきたいなともいうところでちょっと工夫の方お願いします。
0:36:34	今ほど5-77ページのご説明あったんですけど、
0:36:38	これなんか、これこのページも今回変更になりましたかちょっと確認なんですけど
0:36:46	前回は、やっぱりこの16.7までしかわかんないような表だったような、
0:36:54	に記憶してまして、ここもこういった形で今回修正になったということでしょうか。
0:37:13	はい。北陸電力巢守です。はいおっしゃいます通り前回ヒアリング資料から、この辺がですねもう少し詳細にわかるようにという、各S126という確約のところでもわかるようにというところで、
0:37:24	修正してございます。以上です。俳諧ですかわかりましたじゃ
0:37:29	そそういった形で中でも表でもちょっとその辺りわかるようにしていただきたいのでよろしくお願いします。
0:37:38	引き続きまして
0:37:40	ちょっと冒頭の概要のところだけですいません。
0:37:44	35ページなんですけれども、ちょっと細かい話で、
0:37:50	下から
0:37:53	大きな鍵括弧、一つ二つあって、
0:37:57	敷地内断層と活断層との破碎部性状の比較っていう説明、一つ1号原子炉建屋底盤。
0:38:06	岩盤調査坑においてっていう、
0:38:09	そこに扇状火砕岩っていう言葉が出てきてまして。
0:38:15	これちょっとソフトなのでこれ略号なので何か、
0:38:19	いきなりこれを使うとわかりづらいなと思いつつも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:23	逆にこれ
0:38:25	そもそもこれは、
0:38:26	帯状火砕岩っていうのを、帯状を呈する火山砕屑岩っていうのは、
0:38:31	生きてんのかなっていうところを確認したくてですね。
0:38:35	補足の
0:38:37	2分の1の2-2-1の2ページ。
0:38:42	2-2の、
0:38:45	1-2ページから、
0:38:50	過去にこれもうなくしましたみたいな説明もあって、
0:38:57	ここはどうなんですかここはまだ生きてる、記載ということでよろしいんでしょうか。
0:39:03	いきなりであればちょっと、略さずにこういう置き上程する云々という、
0:39:09	そういう言葉で書いていただきたいなと思ってますけど。
0:39:17	北陸電力の木村です。
0:39:21	この帯状火砕岩という記載ですけども、
0:39:26	むしろ、
0:39:29	参考資料の、
0:39:33	5.4-2の、
0:39:43	44ページですね。
0:39:46	4.4-2-44ページに、
0:39:49	1号現象建屋底盤の、
0:39:52	この帯状火砕岩の記載がございます。この帯状火砕岩っていう、
0:39:58	この業務ですけども、これはちょっと、この
0:40:03	工事の写真とスケッチのDた
0:40:07	でございまして、当時、そのように読んでいたということから、
0:40:14	記録に、
0:40:18	記載の通り、その帯状火砕岩という表現を使わせていただいておりますけども、
0:40:23	今、
0:40:27	もう敷地の調査したトレンチですとか、
0:40:31	そういったものでは、こういうビジョン火砕岩という、
0:40:35	表現は用いて、
0:40:37	おりませんで、今は固結破砕部ですとか、そういうような表現をしているものでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:45	で、その美女火成岩という表現が、この 35 ページにちょっと唐突に出てくるというのは確かにおっしゃる通りでございますので、
0:40:55	少し表現を、説明を加えるか、何か
0:41:02	修正をしたいというふうに思っております。以上です。
0:41:11	海田ですはい、わかりました。
0:41:13	これ帯状を呈する火山碎屑岩の略なんであればそその通り、
0:41:19	でもいいし、またちょっとこの辺確認の方をお願いいたします。
0:42:00	私がそれも、
0:42:04	まとめ資料、
0:42:06	ですね、
0:42:12	項目 G がですね、概要が結構厚くなってですね、大分してたってから、
0:42:18	出てくるような感じになってるんでこれも目次で、
0:42:22	最初の方に、
0:42:24	持ってきて、
0:42:25	いただけないですかね、可能な。
0:42:28	ちょっと番号の振り方、ページ数の振り方とかちょっと工夫してもらおう。
0:42:32	ですね。
0:42:34	4、3 ページの次ぐらい。
0:42:38	入れてもらった方が見やすいかなと思うんですけども。
0:42:41	どうですかね。
0:42:46	グループ電力のノハラです。目次 3 ページの後に移動しまして、4 ページ以降の目次に反映するような、そういった構成にしたいと思います。
0:42:57	へえ。
0:42:58	とですね、それ。
0:43:14	あと、
0:43:15	6 ページですね、ここも図がですね、五つあってちょっとちっちゃくなって見づらいんで、
0:43:24	その 2 ページから 3 ページぐらいに拡大して、
0:43:29	入れていただきたいという希望があります。
0:43:37	はい。北陸電力の野原です。承知いたしました。そのように対応したいと思います。
0:43:44	まず引き続き、
0:43:47	あと、コメント回答資料ですね。
0:44:04	12 ページの

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:09	回答概要の中で、
0:44:14	この敷地一帯は同じような環境下で品質をこうむったと判断したというふうな記載になってるんですけども、
0:44:21	もう同じような環境下っていうのをもう少し具体的に書いていただきたいんですけども、
0:44:28	パイライト、
0:44:30	能混合率を測ってるのであればある程度その
0:44:34	温度環境とかっていうのも、他のところでは、
0:44:40	へえ。
0:44:42	推定してると思うんですけども、もう少し具体的に書けないです。
0:44:50	北陸電力1社です。
0:44:52	おっしゃるように、変質の条件と言われるもの、いわゆる温度ですとか、時間、水の通りやつとかそういう要素、いろいろあると思いますけども一番、
0:45:03	こういう意外と今後が一番効いてくると言われているのが、温度環境と言われていまして、この同じような環境下っていうのは、我々、一応温度環境ほぼ同じような温度環境下、
0:45:14	という意味合いで書いていますのでその辺もう少し詳しく記載したいと思います。以上です。
0:45:20	お願いします。
0:45:23	あと18ページの、これは細かいですけど、ちょっと誤字が、
0:45:29	へえ。
0:45:30	この箱書きの中の、
0:45:32	右の方に破砕部及びは幅フィルム状から、幅1.5センチメートルだと思うのは坂っていうのが、
0:45:43	ちょっと、
0:45:43	違う位置にあるんでこれは修正しておいてください。
0:45:49	と、
0:45:59	北陸電力の野原です。
0:46:02	今ほどの18ページの、その幅の位置ですが、
0:46:07	我々としましてはこれまでの資料でも、そのフィルム状というのが一つ幅という観点で、
0:46:15	表現、幅の一つということでフィルム状という表現を使っております、そういった観点からこの幅フィルム状から1.5センチという、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:24	表現を、他のところも含めて、これまでこういった使い方をしてきておりますが、
0:46:30	それ他に合わせて修正した方がよろしいでしょうか。
0:46:36	一応私はそういう関係でこれまでも使っているんですが、そうでしょうか。
0:46:41	あんまり、どうですかねはフィルム状とかって言います。
0:46:50	薄いものをついていうところ。
0:46:53	ていうことを一応フィルム状ついでいうので、それも一応安孫子。
0:46:57	含めてついでいう、
0:47:03	まあいいですかね。
0:47:13	修正が大変なようでしたら結構です。
0:47:24	あと
0:47:26	20 ページ。
0:47:27	29 ページ以降
0:47:30	うちのリクエストで
0:47:36	このエックス線 C T、
0:47:38	解析やっていたんですけどこのブロックついでいうのは
0:47:42	現在そのまま残ってるような状況なんですかね。
0:47:49	小栗電力の木村です。この 19 ページの C T を撮ったブロックの資料はそのまんま残っております。
0:48:00	はい、承知しました。何かやろう、もしやろうと思えばなんかできるついでいうことですね。はい。
0:48:15	とりあえず私からは以上です。
0:48:24	北陸電力藤田です。
0:48:26	18 ページの幅フィルム状から 1.5 センチついでいうような記載がですね。
0:48:31	いくつかやっぱりありますんで、
0:48:34	委託先からもこんな表現で出てきている部分もあると思いますんで、このままでさせていただけるとありがたいんですけどもいかがでしょうか。今うちら関係者で協議したところ、
0:48:46	それでも問題ないということなんでそのまま進めていただいて結構です。
0:48:53	北陸電力藤田ですありがとうございます。
0:48:55	2 点目につきましては現状、こういったがん編残っておりますんでいろいろ対応することが可能な状況です。
0:49:03	直接何か確認したいとかそういうご趣旨なんでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:08	一応確認だけですまだ、これからどうするとかそういうのはまだ全然決まってませんので、
0:49:14	とりあえず確認しただけです。
0:49:17	事実確認ということで承知いたしました。ありがとうございます。
0:49:33	すいません。規制庁の大井です。
0:49:36	ちょっとすいませんまとめ資料の方の、先ほど
0:49:44	に戻っていただいて本編の
0:49:50	13 ページ、10、23 ページ。
0:49:55	ちょっとこれ、確認させていただきたいんですが、
0:50:05	ここには
0:50:08	重要施設の直下にあるものを表にまとめていただいて、
0:50:13	2、の直下にあるものと、直下がないものについて断層をまとめ、まとめていただいたものですけど、
0:50:21	これ前回、海田さんが確認された古藤に、
0:50:26	対する、
0:50:28	ご回答としては、
0:50:31	要するにすいません、13 ページのところ、
0:50:35	計 17 とか、
0:50:37	計 18 とか、この断面図下の断面図で見て、
0:50:45	緑の、
0:50:49	主水路のところに通ってない、かかってないんじゃないかっていう話でしたけど、
0:50:56	これ、今
0:50:59	ですね。
0:51:01	これ 3-3、
0:51:03	3-3 ページ
0:51:05	補んな、な内容の方の 3-3 ページの方には、
0:51:09	注釈でその不確かさを考慮し、
0:51:12	云々というようなことが書かれておりますが、これ
0:51:20	ちょっとこの辺りの説明はちょっと今日、
0:51:24	ちょっと説明をもう一度していただけないでしょうか。
0:51:30	北陸電力 1 社です。
0:51:33	こちらの取水炉への分布位置の話ですね、こちらについては、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:39	資料を、この資料の今の3-2の方にも、浅野さんですねすみません。3-3ページの右下にもうちょっと小さく書かせていただいたんですけども、
0:51:49	不確かさを考慮し重要施設の直下にあると評価値ということで詳細については今回、提出させていただいた補足資料の3.1-1。
0:52:02	に記載をさせていただいております、
0:52:07	補足資料の3.1-1-2ページをお願いしたいんですけども。
0:52:28	よろしい。
0:52:32	あ、はい。確認できて大丈夫ですね。はい。この補足資料の3.1-1-2ページの上に少し詳しく書かせていただいているんですけども、
0:52:43	もともとこの主水路付近の断層といいますのは、
0:52:47	上の位置図の方で、黒丸で書かれてるのがボーリング位置になりますけれども、
0:52:53	主水路の直上で直接ボーリングはできなかったものですから、主水路に平行に配置されております。連絡道路ですとか物揚場。
0:53:03	からボーリングを行って見つけた断層ということになります。
0:53:08	こちら見つけた断層で、断面図を描きましてそこから前られた走向傾斜を用いて、取水位置まで延長した図というのが、
0:53:18	この下のA'断面とB'断面の図になります。
0:53:24	こちらを見ますと、それにも記載ありますけれども、K-17、K-18、K-20 K-21、K-25、
0:53:34	-5本につきましては、直接この主水路にかかっていないように見えます。
0:53:40	いうところがあります。
0:53:42	ただし、この調査位置と、
0:53:44	主水路、離隔あるということでして、実際、この
0:53:49	使っていない距離もですね数メートル程度ということで、多少の走向傾斜のぶれがあった場合、この取水炉にかかってくる可能性を考慮しまして、
0:54:00	この5本につきましては重要施設の直下にある断層というふうに評価をしております。
0:54:05	ただしですねこの、
0:54:08	断層のうち、赤色が重要施設の直下にある断層と評価しているものですが、青色で書いておりますK-19と、
0:54:15	K-24の2本、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:18	につきまして、こちらについては、明らかに主水路からかなりの離隔があると。K-24については、平面的に届いていないということ、
0:54:28	確認しておりますのでこの2本については、確実に取水炉に存在しないということで重要施設の直下にないと、というような評価をしてございます。以上です。
0:54:41	はい。
0:54:43	わかった。はい、わかりました。
0:54:49	それに、青は、
0:54:52	逆にK-19がちょっと僕、
0:54:55	なかなか読み取れないんですけど、
0:54:58	県の24のように、
0:55:02	届いていないという事実を確認しているものは
0:55:06	この青でやってて、離隔があったりして、
0:55:11	へえ。
0:55:14	判別つかないものは不確かさを考慮し、考慮し、
0:55:20	直下にあると評価したということでこれで例えば計18とか、
0:55:26	そうであれば何かこの点線の端部っていうのはどんなふうに、
0:55:33	ごめんなさいちょっと、
0:55:35	これはすでに議論されてることかもしれませんが県18の端部っていうのは、
0:55:41	ごめんなさい、なぜここに置いたのかっていうのは、その地質、
0:55:46	ボーリングの結果から、
0:55:47	こういう評価ができるという、
0:55:50	ことなんでしょうかちょっとすみません。
0:55:53	教えていただければと。幸いなのですが、
0:55:57	衛藤北陸電力石田です。
0:55:59	えっとですねちょっと補足資料の2.3。
0:56:03	-3-9、
0:56:06	補足資料2分の1の、
0:56:08	補足資料2.3-3の9ページ。
0:56:13	お願いします。
0:56:41	今画面に移そうと思います。
0:56:54	今、画面で、この2.3-3-9ページを共有させていただいたんですけれども確認できております。
0:57:02	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:03	こちらは、連絡運搬道路、
0:57:07	主水路に並行する連絡道路上で掘った、この連絡道路上での断面の断面図になりまして、
0:57:15	薄井。
0:57:16	線で書かれているのがボーリング実際に掘った線になりまして、
0:57:24	途中ボーリングの、青い線が断層になりまして、断層の途中で青い赤い丸ですとか黄色い丸が土地が入っていますけれども、
0:57:33	ここが見つけた破碎部の位置になります。
0:57:36	例えば、K-18ですと、
0:57:39	今、
0:57:43	この赤いポチが2ヶ所。
0:57:46	見つかってまして。で、上の赤いポチの延長線上の、
0:57:51	これはH-0.3の85になりますけれどもこのH-0.3の80行で見つからなかったので、延長線である、点線はこのH-0.3の85までの長さでとめております。
0:58:05	実際ここの、
0:58:07	海、
0:58:08	ないことを確認した位置というのは、主水路よりも下の方でないことを確認しているんですけども、その距離を見ますと、10メートルもないと。
0:58:19	ということで、先ほどもご説明した通り、取水炉1と、ちょっと離隔があると。
0:58:25	いうことを含めまして、取水の位置ではこの5メートル程度が伸びている可能性も考慮して、計18については、重要施設の直下にある断層というふうに評価をしていると。
0:58:36	というのが、審査の中で
0:58:40	議論させていただいた経緯になります。以上です。
0:58:44	はい。わかりました。すいませんちょっとそちらの資料まで、私が、
0:58:50	確認できておらず申し訳ございません。端部についてはもう議論、ボーリング孔等で確認ができているものを、評価の断面図に表記した上で、
0:59:04	それでも不確かさを考慮して少し
0:59:10	事業施設にエ口露頭する。
0:59:14	直下にあると評価したというふうなことで理解できました。
0:59:26	規制庁の野田ですけど。
0:59:29	今、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:34	大井さんから確認させてもらった、3の、
0:59:38	1-1--2ですかね。
0:59:41	それで今、まずですね
0:59:44	準備、いや、事実確認したいことがいっぱいあるんですけど、まず上の箱書きで、K19とK24。
0:59:55	これが事業施設に直下ないと御社評価していて、それ今口頭で石田さんからご説明あったんですけど、それはまずここに、
1:00:07	書くべき事項じゃないかと思うんですけどもまずこの点いかがですか。
1:00:15	クリーブ電力一緒です。
1:00:17	おっしゃるようにちょっとこの、
1:00:19	文章だけではちょっとわかりにくいところがありまして、実際、これの、
1:00:23	詳細な説明をしているのが先ほどご説明させていただいた補足資料の2.3の、
1:00:29	海野断層の抽出の資料の方でご説明をさせていただいてまして、2.3-3-12ページと、
1:00:37	13ページ。
1:00:43	2.3-3の12ページと13ページ。
1:00:55	になります。こちらのこの2.3-3の12ページはですね今回、
1:00:59	補足資料の、
1:01:01	3の3.1章としてつけさせていただいた資料が、かなり近いものがついておりまして、2.3-3の中に、
1:01:11	の1に重要施設の位置を明示したというのが実際今回の補足資料の3.1。
1:01:18	のベースになっている資料でございます。
1:01:20	で、K-19につきましては、
1:01:23	詳細な補足資料的なものはないんですけども、
1:01:29	K-24の平面的な位置関係のものについては、補足資料の2.3-3-13ページですね、次の13ページの方に、このK24と取水炉との位置関係というものを検討した資料をつけておりまして、
1:01:43	こちらになります。
1:01:45	ただ、これが先ほどの補足資料3.1の方ではちょっと読めない資料になっておりますのでこれについてはちょっとわかるように、補足資料3.1の方に、
1:01:55	ちょっと説明書きを追加させていただきたいなと思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:02	規制庁の野田ですけど、石田さんご説明ありがとうございました。補足の 2.3 の、
1:02:09	3-13 とか 12 も含めて、
1:02:12	えっとですね。
1:02:14	私の事実確認の趣旨は、
1:02:19	この主水路付近の断層と重要施設の位置関係については、
1:02:25	できればこの 1 枚で可能な限り完結するようにしたほうがいいと思うんですけどそれを完結するよというの、38 条、
1:02:34	対象。
1:02:36	なのか否かっていうことなんですけど、今の計 19 とか 24 というのは直下がないということで、
1:02:45	38 条の対象じゃないと評価したものなんですけど、そうであれば、その平面的なもの、あと、断面的なもの、二つのエビデンスから評価されてるんだと思うんですけど。
1:02:58	それをここに記載していただければと思います。
1:03:04	それが 1 点目です。
1:03:06	あとは、
1:03:11	何ですかね、まず、
1:03:15	私はですねこの資料を見るときに、
1:03:20	本資料の 2 の、
1:03:25	20 ページだったかな、ちょっと待ってください。
1:03:28	2-21 ページですね、2-21 ページと対比させながら、この
1:03:34	3-1-1 の-2 を見えています。
1:03:38	で、
1:03:42	まずは 2、そうですね 2-21 を見ると、御社は取水炉設置面に分布すると評価したって書いたんですね上に。
1:03:53	だからこれを、重要施設の直下にある断層と、
1:03:59	してるんだと思うんですけど、
1:04:01	他方で、この 3 の、ちょっと省略で 1 の配布に新しい資料を見ると、主水路設置面っていうワードが、
1:04:11	どこにも出てこないですよ。
1:04:13	設置例えば主水路、就労率とか、
1:04:16	ただこれは取水炉設置面にあるかないかで取水炉 1 と言われると、
1:04:23	M a a S なんですかね。
1:04:26	底盤もそうですし、側面もそうですし、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:30	宇和版というか、天井も含めてなってしまうんでこれは取水炉設置、
1:04:35	面じゃないかと思うんですけど。
1:04:39	そこはいかがですか。2-21との整合性という観点も含めてなんですけど。
1:04:46	北陸電力社です。おっしゃられるように、
1:04:50	確かにこの3、補足資料3-1での、
1:04:54	延長という意味ではこの取水炉設置面の方が正しい。
1:04:59	という形でいいと思います。
1:05:01	実際、
1:05:04	は0の、この使い分け。
1:05:07	主水路1を使ってたもの、考え方としては、連絡道路から、主水路がある位置に延長したってような表現をする時に取水炉1という表現を、
1:05:17	使っていたんですけども、ちょっとそういう、
1:05:21	言葉の使い分けというのは
1:05:23	わからないというところがありますので、おっしゃられるスチール設置面というのが、恐れ正しい、取水の説明といえば天井から側面から底盤まで全部入りますので、
1:05:33	そういったことがわかるようなちょっと言葉の統一をさせていただきたいと思います。以上です。
1:05:41	石田さんありがとうございます。
1:05:43	ちょっとそういうふワーディングの話から入って、ちょっとまた話がちょっと変わってしまうんですけど、まずそのあとは2-21との比較でいうと、
1:05:55	対象ここの1-2で挙げてる。
1:05:58	断層がK-2と。
1:06:00	あとは系の、
1:06:02	-12から26なんですけど、
1:06:05	他方でこれ、図面にあるのは例えば、抜けてるのはK-1、K-4、K-5、K-6。
1:06:13	これにはなぜ研究しないのか、2-21では言及してるんですけど、この1-2の方では新しい資料で言及しない理由を確認させてもらっていいですか。
1:06:33	北陸電力1社です。
1:06:34	申し上げます先ほど説明したように、この補足資料3.1-1-2の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:42	ベースといいますか、もともとこういった検討をしていたのが補足資料 2.3-3 の 12 ページでして、この記載を参考にしたというのがまず一つでございます。
1:06:52	おっしゃるようにこの先ほどの補足資料 2.3-3-12 というのは、主水路沿いで行った調査を、
1:07:00	についての記載をしているというのが、
1:07:04	ありまして、掲示系に K4K5 についての記載がないというのが事実でございます。
1:07:10	実際 K1K2K4K5 につきましては、
1:07:14	補足資料の 2.3-3-6 ページ。
1:07:19	2.3-3-6 ページの方で、海岸部老眼域主水路付近の調査ということでこちらについてはもうほぼ取水炉の直上の方で、
1:07:28	調査をしまして、これについては K1 は完全に水路に届いていない、K4K5 については取水炉設置面まで連続しているということを確認した調査がございます。
1:07:39	この調査結果も本来この補足資料 3.1 のほうに反映するべきだと思いますので、
1:07:46	こちらについては、
1:07:49	この掲示 K E K4K5 についての記載も追記させていただきたいと思えます。以上です。
1:07:57	規制庁野田ですけど、イシダさんご説明ありがとうございます。
1:08:00	そうですね。少なくとも、下の、
1:08:04	新しい資料の方の下の図、図で出てる断層にはやっぱり上の箱書きでも言及する必要があるんじゃないかと思えますもし言及しないのであれば、A、
1:08:15	なんかその注書きとかが必要じゃないかと思うんで、いずれしても私は、2 の 21 との、
1:08:21	対比させながら、はい。
1:08:24	見えています。
1:08:27	あとはですねえ。
1:08:31	上の箱書きのも、文言ですかねえ。
1:08:35	例えば一つ目の丸で、
1:08:41	K2 及び K12 から K26 について、主水路維持に延長した結果、
1:08:52	こうはなかなかこれだけで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:56	水路維持に延長した結果、別にこんななんかすごい抽象的でわかりづらい言い方をしなくても、
1:09:03	要するにこれはタイトルにもある通り、あれですよ。その主水路付近の断層と重要施設との位置関係を、
1:09:13	確認したんじゃないかと。
1:09:16	思うんですけど、そうではないんですかね主水路維持に延長した結果、この断層を主水路位置に延長した。
1:09:24	結果なんすかね。
1:09:29	ブレイク電力1社です。
1:09:33	この
1:09:34	主水路沿いの調査につきましては連絡道路で行った断面というものが、いわゆる、
1:09:41	わかった地質調査結果というものでして、今この3.1-1-2の下にあるA'断面のB'断面は、図学上、
1:09:52	連絡道路で、
1:09:54	開かれた断面図を図学上総合傾斜をもとに延長した結果、
1:09:58	開けた図。
1:10:00	まず学情。
1:10:01	かけた図という意味でちょっとこういう、
1:10:05	抽象的な、
1:10:06	といいますか。
1:10:08	表現をしていると。
1:10:11	いうところでございまして、おっしゃられるようにこの結果の出力としましては、主水路付近の断層と重要施設の位置関係を確認するために、
1:10:20	この取水の断面で断面図を描いたというのが、
1:10:25	実際の結果となります。
1:10:28	以上です。
1:10:30	規制庁野田ですけど。
1:10:32	ご説明ありがとうございました。いえ、そういう姿勢はそういう趣旨ですよ。わかりますよ。
1:10:38	重要施設の位置と、調査位置がずれてるっていう、御社乖離する離隔しているかって言ってるの。はい。
1:10:48	あとは、この文章で言うとき、後半の方で金取水炉と公社黄砂黄砂、
1:10:56	することから、
1:10:58	これは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:00	平面上の話をしているのか、断面図上の話をしているのか、両方しているのか。
1:11:08	それはどう、どういう。
1:11:10	定義ですかね交差する。
1:11:14	北陸電力社です。
1:11:16	この1マル目の黄砂につきましては基本断面図上での黄砂を意味しています。以上です。
1:12:01	規制庁小野田ですけど、わかりましたで交差するというのは、跨いでるってことですねつまりその上から下まで、その途中で止まっているものではなくて、突き抜けているっていう、そういう、
1:12:15	定義で、
1:12:18	よろしいですか。
1:12:33	北陸電力1社です。
1:12:35	必ずしもそうではなくてですね例えばA4、この断面でいうと経営4とかですと、
1:12:43	主水路の直上、いわゆる天端の部分では、稲を見つけているんですけども、底盤の方ではないということを確認してまして、ただ、
1:12:54	主水路設置面は円形ですので、設置名義は維持しているということで、14に直下にあるということで、言ってるんですけどそういう意味では、突き抜けているという意味での講座ではなくて
1:13:05	一部でもかかっていたら、重要施設の
1:13:08	直下に、取水炉設置にあるという評価を行いますので、ちょっとこの書き方については、ちょっと見直しをさせていただきたいなと思います。以上です。
1:13:19	インダさんご説明ありがとうございますそうですね。私もちょっと軽四とかですね、あとは、経営の
1:13:25	20とかまあ、これは、
1:13:27	こういうところはちょっと気になって確認したんですけど、ただいずれにしても、取水炉と交差する。
1:13:33	ていうのは、
1:13:34	残してもいいのかなと思うんですけど、多分基準上、基準適合。
1:13:39	基準、そうですね。
1:13:41	基準との関係で、
1:13:44	御社から説明を受けないといけないのは、取水炉設置面に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:49	御社が分布すると判断してるか否かっていうことなんですよ。それを踏まえて、重要施設に直下にある断層と評価したって、そこだと思っ たんですよ。この、
1:14:00	主水路と交差することからだけでは、我々は、重要施設の直下にある断 層と評価したというエビデンスとしては十分でないと思っ ていて繰り返 しなんですけど取水炉設置、
1:14:13	面に分布するか否かっていう、ここがポイントではないかと。
1:14:19	考えてるんですけど、この点はいかがですか。
1:14:25	北陸電インダです。おっしゃる通り、
1:14:28	その辺の表現が多少曖昧になっているところがございますので、
1:14:32	実際この表現ですね、補足資料の2.3の方にも多く出てきますので、そ ういったところをちょっと注視して、もう一度この辺りの記載見直し、 表現適正化させていただきたいなと思います以上です。
1:14:48	野田ですけどインダさんありがとうございますで、同じことがまた書き 以降もそうなんです。例えばK17は、主水路とは乖離して、別に 我々帰り、中掘隠しですね離隔、
1:14:59	しているかどうかではなくて、設置水路設置面に認められるか認められ ないか。
1:15:06	ですし、K-18から20億これも取水炉震度って書かれていて、この震 度がどこの震度がわかんないですね、例えばこれ、取水炉設置面の深度 付近には認められないとかですね。
1:15:20	そういう記載、要するに、
1:15:23	どこを基準に本社が、
1:15:27	断層が
1:15:28	分布してると確認確実に調査たく調査で確認してないですね、そう判断 したり評価しているのかという、
1:15:36	そこがポイントだと思うので、また書き以降も多分同じだと思います。
1:15:44	あとは、
1:15:48	そこ以降ですかねしかし以降、いずれの断層野瀬取水炉と近接して分布 することから、
1:15:59	近接して分布することから、
1:16:04	不確かさを考慮し、
1:16:07	重要施設の直下にある断層と評価した。
1:16:10	近接する建設して分布することなんすかね理由は。
1:16:24	私は近接して分布するのではなくて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:29	結局、
1:16:31	さっき石田さんから説明があった通りボーリング調査位置と取水炉位置が離れていて、乖離していて、
1:16:39	主水路設置面での断層の有無を直接確認できていない。
1:16:46	ことから、
1:16:48	そういうボーリング調査結果の不確かさとか、あとは、
1:16:53	止水炉設置面での調査の不確かさを考慮して、こういった計 17 から 25 っていうものも、直下にある断層と評価したのではないかと。
1:17:05	考えているんですけど、
1:17:08	このしかし以降のところはいかがですか。
1:17:15	北陸電力 1 社です。
1:17:17	おっしゃられるように、
1:17:21	いわゆる先ほど、
1:17:22	ご説明させていただいた計 18 とか、計 20、
1:17:26	計 25 とかが、断面図上届いてないように見える。ただ、K19 等、
1:17:32	重要施設の直下と、
1:17:33	A 内径 19 と違うのは、K19 については主水路設置面から、50 メーター以上離れていて明らかにその不確かさを考慮しても明らかに届いていないだろうと。
1:17:45	いうもので、計 18 とかは、そういう意味では 5 メーターから 10 メーター程度の離隔距離しかない、ということをやっとこの近接して分布すると、というような表現でまとめていたところがあるんですけども趣旨としては先ほど野田さんがおっしゃった趣旨、
1:17:59	我々書いていますので、ちょっとそういう表現が、
1:18:04	伝わらないというところがございますのでこの表現につきましてもちょっと修正させていただきたいと思います。以上です。
1:18:13	皆さん、5 ヨシダです。すいません補足させていただきます。野田さんのおっしゃる通りですこれ近接するってのは、この続上ですね、図学上書くと、延長させると。
1:18:25	近接しているので実際は、やはり、設置病院まで、少し層厚が回ってですね、
1:18:32	取水炉の設置面に届いている可能性が否定できませんので、
1:18:39	そういうことを言ってますので検出するんじゃなくて近接し学情を建設して実際は、もしかしたら設置まで行ってる可能性があるということで評価してますので、それ最初の丸も含めて、そこはしっかり、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:52	わかるように、ここは記載の修正をしたいと思います。よろしくお願いします。
1:18:58	いかがでしょうか。
1:19:00	規制庁小野田です。吉田さんご説明ありがとうございました。そうですね私が言ったよりも今吉田さんから説明を受けたその設置面での分布が接地面で、
1:19:11	説明に認められないことが否定できないことから、そっちの方がいいかもしれないですね。ええ。
1:19:18	なるほど。ありがとうございます。
1:19:23	ちょっと私も、今の石田さんと、吉田さんからの回答を踏まえて、もう少し、
1:19:33	この資料、
1:19:34	見てみたいと思うんですけど。
1:19:36	背景は、これ、
1:19:41	すごい。
1:19:42	38条対象か否かっていうところを説明、1枚で説明する私は重要な資料だと思っていて、
1:19:51	おそらく、そっか、こっちの補足のほうですね。
1:19:55	補足のほうでもご説明いただいているんですけど、ちょっとこの1枚でどうまとめるかっていうところで、
1:20:02	そうですねちょっと整理も必要。整合性とか、この資料上での完結性っていうところが、ちょっとポイントになってくるかと思うんで、
1:20:10	石田さんは吉田さんありがとうございますちょっともう1回私の方でも、確認させてください。ありがとうございます。とりあえず、この、
1:20:20	市水路付近の断層と重要施設の位置関係についての資料は、私からは以上なんですけど、
1:20:28	規制庁側から何かありますか。
1:20:48	甲斐海田ですけども、ちょっと再びちょっとまたお願い確認と、
1:20:54	ちょっとこれもまた資料構成に関する事で
1:20:59	17ページをお願いします。
1:21:05	ではこれ、上載地層の、
1:21:08	その年代について、
1:21:11	これもちょっと、
1:21:13	1ページに頑張ってまとめていただいて、こういう形になっているところはわかるんですけどもちょっとやっぱり図も小さいし、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:24	ちょっと
1:21:26	詰め込み型になってると。
1:21:29	いうところなので、
1:21:32	これもですねちょっと1ページにまとめてはいただいたんですけど、
1:21:37	上載地層って大事だし、これも本編の方からちょっと、
1:21:42	可能なところは、
1:21:44	使える、使ってっていうところで、
1:21:46	多分私の方から
1:21:50	こんな形でどうかなと思うんですけど、
1:21:54	これもともと出てきてるパスを5-12とか、5-13、
1:22:00	あと5-26ページ辺りのものを他に取りまとめていただいているかなと思ってます。
1:22:09	ですので5-12、13、26、
1:22:14	この辺をちょっと、
1:22:18	そのまま持ってくるとは変な表現があったら、
1:22:23	駄目なんですけれども、
1:22:25	そういったところをちょっと確認していただいて、1213、26を、
1:22:32	持ってきて、上載地層の説明。
1:22:35	ていうところで、
1:22:36	立てていただいた方がわかりやすいかなと思うんですけども。
1:22:42	この敷地の周辺にはこういった段丘面が分布しますんで、っていうところから、ここちょっと3ページで説明していただくという形でいかがでしょうか。
1:22:54	或いは北陸電力の野原です。今のご趣旨わかりましたので、この上載通報につきまして、本資料の方、
1:23:01	使いまして3ページで説明するような構成にしたいと思います。
1:23:05	以上です。
1:23:08	海田です。
1:23:10	その辺すいませんよろしくお願いします。
1:23:13	同じ観点で19ページの、
1:23:18	鉱物脈の時代が結局、
1:23:22	どう評価したのかっていうまとめのところこれも頑張って1枚にまとめてはいただいたんですけど、
1:23:29	これもですね
1:23:32	出所は多分後の30ページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:37	それと、
1:23:41	兵
1:23:43	向こうの 50 ページですかね。
1:23:48	ここの辺りを組み合わせて評価されてると思うので、
1:23:54	これもですね特に 5-30 なんか今までこうずっと見てきた。
1:24:01	2 ページで、
1:24:03	比較的よくまとまっててわかりやすいかなと思いますので、
1:24:07	5-30 と、この 50 辺りを、
1:24:10	使って、2 ページにはなるんですけども、説明していただいた方がまとめとしては、
1:24:16	わかりやすいかなと思って、そのあたり、
1:24:20	もう妻も持ってくると変なことになるのであればちょっと調整が必要かと思うんですけども、その辺いかがでしょうか。
1:24:28	はい。グループ電力の野原です。今ほどの 2 ページを編集等考えまして、今のと、前段の方に反映したいと思います。
1:24:37	以上です。
1:24:40	はい。海田ですのでよろしく願いいたします。
1:24:45	北陸電力藤田です。海田さんの一つ前の確認事項の中の、
1:24:50	ページ 17 の、
1:24:52	詰め込み型だったんで、分けるった時に、今
1:24:57	3 ページぐらい
1:24:59	例としておっしゃっていただきましたけど、
1:25:01	そのあと 17 ページの下の方の真ん中の新年度の関係の、
1:25:06	データとかがちょっと、
1:25:08	見えにくくなるのかなと思うんでそこは、
1:25:13	なくなっても大丈夫という処理講師の下そういうのも含めて、支援の関係もこういうことをちゃんとやったってのがわかるように、
1:25:20	ページ 3 ページに限らず 4 ページなってるからそういうのを入れた方がいいのかそこだけちょっと確認させていただきます。
1:25:27	長海田です。新年度への利益の計上で 5-26 ページを見ると、
1:25:35	一応結果としてこうなりましたっていうのとあとその横に、
1:25:42	グラフのようなものがついておりまして、
1:25:46	これで大体
1:25:49	いいたいことは言えてるかなと思ったんですけど確かにこの 17 ページの真ん中の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:56	下の図ですね。
1:25:57	これがなくなっちゃうので、
1:26:00	これは説明の流れであったほか、
1:26:05	不満。
1:26:07	まあどっか入れ込めば入れ込めんですけどもなければいけなくとも概要版なので、結果としてこういうふうに整理されたということで、
1:26:19	いいかなと思ったんですけど、その辺
1:26:22	不足するん。
1:26:24	どうですかねこの 26 を見れば新年度の話っていうのは一応、
1:26:30	全体がつかめるかなと思ってちょっと
1:26:33	申し上げたんですけどその辺はちょっと言い足りないということであれば、ちょっとまた検討いただきたいと思うんですけど、いかがですか。
1:26:42	瀬下です。26 ではデータとしてしっかり入ってまして、一般の方がちょっとわかりやすいかどうかという観点で、17 ページの真ん中ほどの、
1:26:54	ことだと思うんでここは、本資料には、
1:26:58	しっかり
1:27:00	26 で全部アウトプットまとめてありますんでこのページを、
1:27:04	持ってくる形で、
1:27:05	なくても説明ができるかなというふうに思ってますんで、ないような形で整理したいと思います。
1:27:11	はい。海田ですか。それでよろしくお願いします。
1:27:22	あと 1 点、野田さんの先ほどの、
1:27:26	取水炉の
1:27:27	ところの断層の関係のところの、
1:27:30	しっかりいつまで書くっていう趣旨は、13 ページ。
1:27:36	の
1:27:38	冒頭で言ってるこのページにしっかりすることがわかるようになって 1 枚もんという意味なのか。
1:27:43	或いは補足資料で今回追加した 3-1-1-2 のところでしっかり 1 枚にっていう趣旨なのかそこ、もう一度事実確認だけお願いできますか。
1:27:54	きちっと野田です。後者ですね、3-1 の、
1:27:59	1-2 の方で、
1:28:02	1 枚でわかった方が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:04	いいのかなと私は思ったんですけど、藤田です。承知しました。麻生確認だけなので、終わりました。我々も3-1-1-2で今回、丁寧に、
1:28:18	四角棒でこういうことっていうことを書いたんでそこがちょっと不十分だったのは、反省点なんですけどそこはしっかり記載見直しますんでここでしっかりわかるように、
1:28:26	整理したいと思います。以上です。
1:28:30	規制庁小野田です。いや、はい。そうですね特に反省というわけではなくてすみません。
1:28:37	なかなかなんですかね。
1:28:41	設置名等、調査位置が一致してないってということで、多分石田さんも、
1:28:49	いろいろこう表現とかを工夫されてるところは、
1:28:54	十分承知しているんですけど、いずれにしても、
1:29:00	そうですね、設置、設置面っていう言葉を使った方が、
1:29:05	基準規則との
1:29:09	関係でいいんじゃないかと思ったんで、
1:29:12	ありがとうございます。
1:29:16	藤田です。ありがとうございます。
1:30:10	きちっと野田ですけど、すみませんさっきの取水炉の話以外で、少しコメント回答とか、まとめ資料の概要のところで、
1:30:21	事実確認をさせてもらっていいですか、まずコメント回答の8ページ。
1:30:30	と粘土鉱物の組成の概要のところ、頭の上の回答の概要の最後のポツ、以上のことを踏まえるとという始まる一文なんですけど、
1:30:43	ここで、真ん中から後半にかけてですね、都丸Cということで、反応する溶液の性質にばらつきがあったこととあるんですけど、
1:30:53	この反応する溶液ってというのは、
1:30:56	熱水のことを言われてますか。
1:31:00	ちょっとこの溶液っていう表現がですね、熱水のことを言われているのか。
1:31:06	もしくは、何か
1:31:10	この
1:31:11	試験をやられたときに使った溶液の話をしてるのがちょっと。
1:31:16	これだけだと、わかんなかったんで、
1:31:18	具体的に何を、何を、何の溶液のことを言ってるのか確認させてもらっていいですか。
1:31:27	電力の小林です。衛藤。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:30	こちらの方は皆さんおっしゃいました。熱水の方の方も言うておりました、イライトスメクタイト混合層が、ある程度の温度がある、水と反応してできたと考えておりましたですね反応した水。
1:31:44	につきまして今こちら溶液という表現で使っております。
1:31:49	以上です。
1:31:52	ごめんなさいご説明ありがとうございます。そしたら、熱水って書いた方が、もちろん、わかる人は、
1:32:01	御社の
1:32:03	敷地、
1:32:05	がかつて熱水。
1:32:09	活動によるって、
1:32:13	鉱物が組成されたりとかってということわかるんで、ちょっと反応する溶液というのと、
1:32:19	なかなか、
1:32:20	私はすいませんすぐ、ピンとこなかったんですけど、
1:32:25	熱水って書くと、それは間違いなんですかね。
1:32:30	中国電力の小林です。今おっしゃられましたように、熱水
1:32:38	というような、そういった表現の方が確かにわかりやすいと思いますので、そういった表現に修正させていただきます。以上です。
1:32:47	野田ですけど、小橋さんありがとうございます。そしたらはい。衛藤。事実確認できました。
1:32:54	あとは、どこだったっけ
1:33:04	同じくコメント回答資料 25 ページ。
1:33:09	の、これも上の上ですね、回答の概要で丸が二つあるんですけど、
1:33:17	丸二つともですね途中で活断層っていう言葉を
1:33:22	何ですかね裸で使われてるんですけど、多分これは正確に書くと、震源として上の丸の方は震源として考慮する明日もそうかな、震源として考慮する活断層である。
1:33:34	福浦断層では、というのが正確な記載ではないかと思えますんで、ちょっとお伝えしておきます。
1:33:46	はい、そう、コメント回答はそんなところかな。
1:33:50	あとは、
1:33:53	まとめ資料の概要のところですかね、まず 5 ページ目、評価概要のところ、
1:34:06	例えばですね土佐 3 ポツ、断層との位置関係のところ、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:13	重要な安全施設、中央の安全機能を有する施設から、
1:34:18	重要な影響を与える恐れがあることから、
1:34:23	施設と1断層との位置関係を把握したってあるんですけど、
1:34:28	これ多分、
1:34:29	技術的にはそうなんですけど、多分基準、
1:34:36	適合上は、おそらく、
1:34:39	重要重大な影響を与える恐れがあることからではなくて、
1:34:45	影響を与える恐れがあり、
1:34:50	10、
1:34:52	重要施設、
1:34:54	の、
1:34:55	こっちな。将来活動する可能性のある断層が露頭するところに、重要施設を設置してはならない。
1:35:07	ことからっていう、そういうことじゃないかと思いますこれ多分。
1:35:11	新規制基準の考え方の、
1:35:15	219ページって書いたな、219ページに、多分そういった記載があるんで、ちょっと確認してもらえればと思います。いずれしても、我々は別にその安全機能に重大な影響を与える恐れがあるっていうこともそうですし、
1:35:31	基準適合上は、そういった施設と将来する活動する可能性の断層等との関係を、
1:35:37	見ているんで、そっちの記載の方が適切じゃないかと思います。
1:35:43	あとは、
1:35:45	4、4ポツの評価対象断層の選定の上のポツで、2行目ですかね、評価対象としない断層は、評価対象断層に、
1:35:58	に評価を代償させることとした。
1:36:05	多分これも、
1:36:07	本当は、本当だったらもう少し正確に書くと、4-3ページって書いてあんな。
1:36:23	評価対象としない断層が、評価対象断層。
1:36:29	の表に評価を代表させることができること。
1:36:36	からと書いてある。
1:36:46	評価に代表させる。
1:36:52	多分、いずれしても評価対象断層を評価対象としない断層は、評価対象断層の評価に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:59	で代表できることを確認。
1:37:02	したっていうことを記載する必要があるんじゃないかと思うんですけど。
1:37:09	評価対象としない断層は評価対象断層に評価を代表させることとした。
1:37:17	あそこ、結論だけを書いてるってそういうことかなあ。
1:37:27	4-3 ページもそう書いてありますね評価対象断層、消火対象としない断層は評価対象断層、評価対象断層に評価を代表させることとした。
1:37:59	確認評価。
1:38:10	多分私が言いたいのは、
1:38:14	正確にやっぱりそうだよなこれは、
1:38:18	この評価対象断層の選定にあたっては、評価対象としない断層が評価対象断層に評価を代表させることを確認しない。
1:38:29	確認できたんで、
1:38:31	最終的には評価が、評価を代表させることとしたっていう、そういうことじゃないかと思うんですけど、それがだからそっか4-3 ページにはこういう書き方をしてるけど、
1:38:43	さっきの、
1:38:48	ところでは結論だけが書かれてるってそうそういうことですかね。
1:38:53	北陸電力の藤田です。今の3 ページは、左の方の四角書きにしっかりやってる中にも記載して、以下の手順でちゃんとやったんで、
1:39:04	最後のアウトプットとしたら、評価対象弾評価対象として断層は評価対象断層の評価。
1:39:11	を代表させることとしたっていう、下の四角もステップを踏まえてそうしたという、
1:39:16	最後の結果も踏まえて書いてるんですけど、
1:39:19	5 ページ、今回まとめた5 ページは、ちょっとそういった言葉の一つ一つやった代表させることの際に確認したことを記載せずに、いきなりアウトプットだけ書くと、
1:39:31	何でこんなことができるんかな代表させることができるんかなっていう疑問に思うんで、
1:39:36	5 ページの上の2、
1:39:38	2 行のうち最後の行は消してもいいのかなとは思うんですけどそこはやり過ぎですか。
1:39:56	フジタさんご説明ありがとうございますございますすみませんちょっと私もうまく、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:03	答えというか結論がまとまってなくて、武石。
1:40:19	そうですねケース。
1:40:23	フジタです。そうしましたら以下の手順で検討し、そういった代表させることをちゃんとしっかり検討したんで、
1:40:31	評価対象断層として断層は、評価対象断層に評価を体制表させることとしたっていうことで、しっかり代表できるってことをしっかり確認した上でそういうことをしたっていうふうに丁寧に書くか。
1:40:43	布田さんの方は後者の方なんですよ、多分そうですね。だからあれかな、行ったって切っちゃうからいけないのかな手順で検討して、
1:40:52	評価単位で評価対象としない断層は、評価として代表させることとした。
1:40:58	なるほど。
1:40:59	そうですねちょっと丁寧に書いた方がいいかなと思ったんですけどちょっともう1回、
1:41:04	私、
1:41:07	何かいい表現ぶりがないか、考えてみます。
1:41:12	はい、わかりましたありがとうございます。
1:41:15	それ以降の趣旨はわかりました。しっかりそういう代表させてもいいんだよということをしっかり、
1:41:21	検討した上で、そういうことをやってるっていうふうにわかるようなちょっと文章を私ども考えますんで、そういった記載。
1:41:28	に変更したいと思います。
1:41:30	はい、ありがとうございます。
1:41:33	あとは、
1:41:40	35 ページ。
1:41:46	35 ページで、ここ、申請時からの変更した内容のところ、
1:41:58	下の一番下の活動性評価のところ、
1:42:04	変更後の内容のところ、
1:42:07	なんですけど、上載地層法による評価が、
1:42:11	3 地点のデータってなっていて、
1:42:17	ここは3 地点、
1:42:20	だけで、
1:42:21	いいんでしたっけあとは鉱物脈法の方も薄片が、
1:42:25	21 枚。
1:42:35	これはあれですかたくさん

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:39	上載地層法の鉱物脈法も、
1:42:43	これ以外の調査、例えばその後の3ページと書いたな、午後3ページ。
1:42:50	この3ページにあるような評価地点だ。
1:42:56	評価地点で、
1:42:59	検討した
1:43:01	うち、
1:43:02	実際に活動性評価に純粹に使ったものっていうのが、3地点とか、
1:43:09	薄片でいうと21枚っていうそういうことを書かれてる。
1:43:13	ってことですかここは。
1:43:18	北陸電力の木村です。
1:43:21	今ほど布田さんおっしゃられた通りでございまして、36ページの
1:43:27	上載層法による評価3地点というのは、最終的に活動性評価に用いた3地点ということで、
1:43:36	三十二、三13ページの一覧表で、緑色で、
1:43:40	書いた。
1:43:43	丸勝のデータですね、
1:43:46	変形がないことは明確に確認できるDた。
1:43:49	が3地点ありますのでこれを3地点というふうに、
1:43:52	書いてますし、鉱物や方を同様に、最終的に評価を用いた緑色のDた。
1:43:58	21
1:44:00	21枚のデータ、これが最後に用いたデータなので、これをここに記載しております。
1:44:07	実際に調査し、
1:44:09	来たのは31ページ。
1:44:11	うん。
1:44:14	上載双方向じゃIV、
1:44:16	もっと多くの地点で調査しているということは書いてありますけども、
1:44:20	最終的に評価に用いたのはこの
1:44:23	上載双方3地点と法人法21枚。
1:44:27	というのは、
1:44:29	最終的な結果となっております。以上です。
1:44:37	ご説明ありがとうございました。そうすると、
1:44:39	逆に言うとその申請時の方は、上載情報で6地点となってるんですけどこれも変更後と同じで、最終的に、
1:44:49	活動性評価に用いたデータっていうのが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:54	6 地点ということで、
1:44:56	要するに申請時と変更後っていうところで、この1 定数の整合性は、
1:45:02	図られているということでいいですか。
1:45:08	北陸電力の木村です。
1:45:12	39 ページをご覧ください。
1:45:15	いただきますと、申請時の活動性評価時点と、
1:45:20	審査を踏まえた変更後の活動性評価地点というのを、
1:45:24	合計の地点数書いておりまして、申請時は、ここの左側の表にあります、S1 で4 地点、S4 で1 点。
1:45:34	S6 で1 地点ということで、合わせて6 地点と、これすべて評価に用いていたということで、
1:45:42	ここに表に記載をしております。
1:45:45	以上です。
1:45:48	木村さんありがとうございましたそうですね確かに38 ページ見ると、左側の申請時の方も6 地点となっていて、これが上載地層法による評価の主たる工業として使われてるんであればそうですね整合性がとれてますね。なるほど。
1:46:04	わかりました。なるほど。とりあえず、事実確認できたんで。はい。私からそうですねコメント回答と、概要のところはい。以上ですありがとうございました。
1:46:29	規制庁海田です
1:46:32	概要版の35 ページお願いします。これ多分最後の3、
1:46:37	319 ページ、3-5 の319 ページと、
1:46:44	三田監事ほぼおんなじものだと思うんですけども、
1:46:48	なので今日、319 ページとおんなじ共通しての、
1:46:54	確認になるんですけども、
1:46:57	最終的な結論としては
1:47:00	いずれも将来活動する可能性のある断層等ではないと評価し評価したというところ。
1:47:09	結論づけられていると。
1:47:11	で、
1:47:13	これも言うわずもがなになってしまうんですけども、
1:47:18	今までの先行のサイトとかでは
1:47:22	将来活動する可能性のある断層等の中には震源として考慮する活断層も含んではいるんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:31	進ん三条と四条の違いっていうところもあって、
1:47:36	将来活動する可能性のある断層等ではないと評価したっていう。
1:47:41	うんことと、あと
1:47:44	A敷地内には震源として考慮する活断層ん層は、ないと、存在しないというところも、
1:47:52	書いてもらってるというかそういうふうに書かれてるっていうところもあるんですけど。
1:47:58	ここは
1:47:59	震源として考慮する活断層もないということでもいいんであればそういうふうに、
1:48:07	書いていただきたいなと思うんですけどそこはいかがですか。
1:48:14	北陸電力の野原です。震源として考慮する活断層はないという趣旨も含めて、これまで記載しましたので、それもわかるように明記したいと思います。
1:48:24	以上です。
1:48:26	はい、じゃあよろしくお願いします。
1:48:40	海田ですじゃあちょっと引き続いてちょっと概要の後の別の方のページに、
1:48:47	いきたいと思います。
1:48:50	5、S1であれば、5-67ページですかねH e a dから説明が始まるんですが、
1:49:03	これがですね
1:49:05	ちょっと
1:49:07	五、六十、
1:49:10	9ページから実際の説明が始まっりまして、
1:49:14	この
1:49:15	ちょっとこれもちょっと後世に近いところになるんですけど、
1:49:19	いきなりこうちょっと上載地層による説明、評価っていうのがあってそのあとに、
1:49:25	鉞物脈法による評価っていうのがあって、
1:49:28	結果としてやってやったことがこうこう二つ並べて書いてある。
1:49:35	ですけれども、まずこの
1:49:37	S12は、上載地層による評価の前にですね。
1:49:44	例えばS1であれば5-5ページでしたけど、
1:49:56	調査、こういうところで調査しましたっていう全体像が

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:02	あった方が、
1:50:04	わかりやすいかなと思う。逆にこの5ページから5-8ページぐらいのものってというのは、
1:50:11	この各断層の評価のちょっと頭に持っていった方が
1:50:16	どういったところで調査して、どういった評価をしたかっていうのがわかりやすいと思うんですけど。
1:50:22	これ、今、大分離れたところにあるっていうのは、これはやっぱり交渉立ての関係で、どうしてもこうなってしまうということ。
1:50:30	何ですかねもしそうであれば、似たようなものを、
1:50:35	各断層の評価の冒頭に、全体像を示すようなものを入れていただいて、
1:50:42	上載層、
1:50:44	鉱物脈法という説明に、
1:50:46	入っていただいていた方がわかりやすいんですけどそこはどうか。
1:51:04	はい。北陸電力の野原です。
1:51:07	5-5ページ以降の各断層の評価地点というページございますが、これを各断層の評価の頭にそれぞれ持ってくることにつきましては、差し支えありませんので、
1:51:21	今一度資料の構成を改めてちょっと全体見直した上で、今ほどのようなご指摘の通り、資料の方を反映していきたいと思います。
1:51:30	以上です。
1:51:33	はい。海田でしたわかりましたその辺ちょっと
1:51:36	また工夫していただきたいなと思います。
1:51:39	それとあと、今は、各断層の評価の、
1:51:43	冒頭何の話なんですけど、その各断層の評価の結果とかを見ると例えばS1だったら、
1:51:51	上載地層の話が69ページから始まって、
1:51:59	75ページまでですか、これが上載地層でそのあとに、鉱物脈は、
1:52:05	始まっていくんですけど、
1:52:07	例えばその、
1:52:09	5-75ページ。
1:52:12	いやスイッチの最終的なまとめっていうのが、そっかまとめがなくてですね。
1:52:21	鉱物脈法の評価で終わってると。
1:52:25	どこだっけ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:28	S1の最後が5-98ページですかね。
1:52:35	図全部把握してればわかると思うんですけど、例えば主鉱物脈法の評価 上載地層の評価、5-75ページまでで、
1:52:45	結論が1、1段丘堆積物に変位変形を与えていないと。
1:52:50	いうところとかあと鉱物脈法だったら、5-98ページは、
1:52:57	砕屑岩脈とかそれぞれかあと
1:53:01	IS混合層に変位を与えていないっていう。
1:53:04	そこでちょっと終わってると。
1:53:08	で、結論として、なので、どうなのかっていうのがちょっとこう、
1:53:15	このS1の評価、SES後もそうなんですけど、
1:53:21	ここを見てる限りちょっとわかりづらくてくちょっと資料集的な感じに なってるっていうのが、
1:53:27	気になってまして。
1:53:29	これ、何かこの辺のページででも、
1:53:32	まあ、だから後期更新世、
1:53:35	以降の活動がない。
1:53:37	と評価したんだっていうのは、
1:53:39	わかるような書き方っていうのができたらいいかなと思うんですけど、 まとめのページを入れるかどうかまた、そこは、
1:53:48	それかこの今のあるページに書き込むかなんですけどその辺ちょっとわ かるようにしていただけるといいんですけどいかがですか。
1:54:24	は野田ですけど、今の海田さんのコメントに関連してなんですけど、御 社、この活動性評価のところは、例えば5-301ページから、
1:54:36	活動性評価のまとめっていうことで、改めて
1:54:43	各断層の活動性評価の、
1:54:47	結果概要をつけてもらっていて、
1:54:51	さっきの冒頭の
1:54:54	何ですかね、
1:55:01	患者さんから冒頭にコメントがあったところもそうなんですけど、
1:55:05	もしかしたらその辺をもう、各断層ごとにまとめてしまうっていうのも 選択肢としては、
1:55:13	あるかなと、私は思いながら、見ていますけど、ノハラさんこの辺、ど う、どうですかね、どういう形で、
1:55:23	パッケージするのが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:28	我々だけではなくて、こういった資料を見た人がわかりやすいのかなと。
1:55:37	我々もちょっと悩んでいるところなんですけど、いかがですか。
1:55:44	北陸電力の野原です。ちょっと資料のみがサーの観点にいけますというんな考え方があって、ちょっと私もまだ考えまとまってないところがあります。
1:55:55	今、今各断層のまとめを
1:55:58	この 300、
1:56:00	3 ページ以降にまとめてあるのは、これはこれで、ぱっと見やすいというメリットがございます。
1:56:08	同じようなものを、各断層のまとめに、
1:56:12	入れるとそれはそれで見やすい。
1:56:16	部分はあるんですが、似たような資料がたくさん出てくるというデメリットもございます。
1:56:23	ですのでちょっと考えさせていただきますが
1:56:26	今我々の各断層の活動成果の構成としては、
1:56:30	評価、例えば 5-70 ページ、などで、
1:56:35	結論先出しの資料構成。
1:56:38	にしております。
1:56:40	その方がデータ集的になっているんですが、
1:56:44	例えば
1:56:47	田所委員から 5、
1:56:50	5-75 ページ一番最後のところに、この 75 ページの下のところに、各断層の結論、
1:56:56	おかくですとか、
1:57:00	そういった、
1:57:03	方法でいかがでしょうか。まとめが各断層に、
1:57:06	あった上で考えも重々わかりますので、そっちの方がいいということであればそういったことも対応は可能なんですけど、
1:57:14	いかがでしょうか。
1:57:21	規制庁の海田です
1:57:23	冒頭にこの
1:57:27	さっき今ほどおっしゃったように、後ろの方にまとめがちゃんとまとまってるといってところそれこちらまとめ、結果としてどうなのかっていうのを一覧してみるの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:39	わかりやすいかなと思ってそこはそこで、
1:57:42	いいかもしれないんですけどそれと同じものをちょっと前の方にまた入れるかっていうところの話かなと思います。ちょっと今そこはまた
1:57:53	ちょっと今考えますけど
1:57:56	今おっしゃった、5-70 ページとかも、
1:58:00	兵庫ところ評価結果なんですけど、
1:58:06	結局その
1:58:10	いちいち段丘面堆積物の堆積の以前であるというところが
1:58:15	結論になってて、このんだから後期更新世、
1:58:22	三木より、
1:58:24	古いんだっていうところが、やっぱりこの辺を見ても、わかんなくて、
1:58:32	同じことは鉾物脈の方でも、I S 混合層
1:58:38	より不古いんだというところはわかるんですけど、
1:58:41	だからっていうところがないというところもあるので、
1:58:45	その辺り少なくともこういったページにも、
1:58:50	んだからどうなんだっていうところは入れていただきたいと思うんですけども。
1:58:56	うん。うん。ちょっとその辺の今、まとめページをちょっとこの方にも入れるかどうかちょっと我々も今から考え、ちょっと考えさせてみ。
1:59:09	もらっていいですか。
1:59:12	はい。北陸電力の野原です。5-70 ページには確かに最終的な結論まで書いてございませんので、こういった各断層の評価結果をまとめてあるページに、
1:59:22	後期更新世以降の活動性がないという最終結果も、追記していくようにしたいと思っております。
1:59:29	そして各断層ごとにまとめを出すかどうかにつきましてもちょっとこちらでも
1:59:34	改めて考えて、どのようにしていくか検討していきたいと思っております。
1:59:41	はい。以上です。
2:00:29	千田です。ちょっと少し補足といいますか、今ほどの我々の資料構成非常に飛び飛びでわかりにくくて、今ほど言うようにですね、上載層の例えばS1の70 ページでノハラいうですね、
2:00:42	最終的な結論が、後期更新世の一步前で止めたH1 段丘堆積物の堆積以前と、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:50	いうこの駐車場の裏面の南東トレンチの結果を言ってそのあとはデータ集にしていくということで、505-303 ページあります。またここでもすね、
2:01:01	飛んでしまうんですが、今ほどの上載地層法の結論が、
2:01:05	この公約雨後の 303 ページの左の方の枠の中の一番右下です。すね。
2:01:11	ここに書いてありますんでここ、ここは今ほどの 5-70 ページの結論が書いてあって、一歩前で止めてます。右の鉱物脈法による評価は、同じように、
2:01:22	I S 混合層は、
2:01:27	絶えず使う形成前というか、事前性がしっかり伸びてません。最終的に上載層と、鉱物脈法の評価を含めて、足し合わせてこの 500、この 303 ページの一番下です。すね、下に、
2:01:40	後期更新性がないという形で一番最後にここに書いてございます。こういう形で、それぞれの、その飛んでです。すね、ほとんどここにまとめがありますので、それ、どういうふうにして書くか、上載層の、
2:01:53	中嶋の方にも後期更新世内というのを明記するか、それも含めてです。すね、少しわかりやすさの点で、工程を考えたいと思います。また、
2:02:02	こうしたらいいというふうなご意見がございましたらまた教えていただきたいと思います。少しやっぱり飛んでです。すね、わかりにくくて、
2:02:09	申し訳ございません。
2:02:16	きちっと野田ですけど、吉田さんご説明ありがとうございましたこの、
2:02:20	これ確認なんですけど、今、吉田さんが例えば 5-303 ページだと、上載情報鉱物京それぞれの評価結果としては、例えば、
2:02:32	上載地層法ですと、1、1 段丘堆積物の堆積以前であるですし、あと鉱物脈法ですと、I S 構想の生成以前であるとなっていて、
2:02:46	それを
2:02:48	その二つから、
2:02:50	最終的に後期更新世以降の活動性は認められないというふうに御社が考えているのであれば、そういうロジックで資料作っているんだとすると、
2:03:01	ごめんなさい、5 ページ。
2:03:03	概要の 5、概要というか、本資料の 5 ページ目の評価の概要のところ、
2:03:11	ここは、この評価の概要の下に 5 ポツで、敷地内断層の活動性評価とあって、ここでは、上載地層法、鉱物脈をそれぞれ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:22	ここの中でそれぞれの中で、後期更新世以降の活動性は認められないままで書いてあるんで、
2:03:29	ちょっとその、
2:03:30	そごが生じちゃうんじゃないかなと思ったんですけど。
2:03:35	その点はどうか考えられていますか。すいません、記載の整合性だけではないです。
2:03:44	おっしゃる通りです。基本的には各 303 ページの方は、拡張先線を
2:03:51	やはり、数値もですね複数の調査地点がありますので、それぞれ 1 個 1 個の地点で、最終的な数値の評価の、後期更新世以降の評価ってのは、
2:04:02	少し置いといて、全体として S1 全体として、後期更新世はないというのが、303 ページに書いておるんですが、おっしゃるように 5 ページの方では、
2:04:14	各それぞれの手法でも、飛行士成功の活動がないというのもありますし、実際、各調査地点でのデータで、後期更新世以降の活動がないというのを、
2:04:26	やはり帰っておいた方がいいのかなというふうな、
2:04:30	思いもありますので、もうちょっとその辺は、
2:04:33	全体整合とれるようにして、
2:04:37	あらかじめするような形で記載修正したいと思いますが、いかがですか。
2:04:44	吉田さん、野田ですけどご説明ありがとうございます。多分、単なる生理学の問題だけだと思っていて、
2:04:51	各地点でどこまで言うか、もし、各調査地点ではあくまでも堆積前であるとか、生成以前である止めるのであれば、例えば 5 ページの方は、この下、各
2:05:05	上載地層法、鉬物脈法の決定。
2:05:08	のところから、後期更新世以降の活動性が認められないよう取ってしまって、ここの、最後の
2:05:15	将来活動する可能性のある断層等と評価する前につければいいだけですし、もしくは、今吉田さんが言われた通りも、各調査地点で、後期更新世以降の活動性は認められない。
2:05:29	といった形で書くのであれば多分 5 ページと整合するのかなという。多分、セイリガクの問題だけだと思うので、少しご検討いただいて、
2:05:41	全体、整合性がとれるようにし、整合性がとれるようにしてもらえればと思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:48	あと、
2:05:52	最後の今、
2:05:55	海田さんの方からコメントしてもらった、各断層の最後の結論の部分っていうのは、ちょっと我々も考えさせてもらっていいですか。
2:06:06	なぜかというと 301 ページ以降のまとめっていうのは、単なる活動性評価だけではなくて、少しその前段の話なんかもあるので、
2:06:17	前段の話とか結構その詳細に書かれているので、これを最後につければわかりやすいかという多分私は少なくともそうじゃないかと、そうじゃないかと思っていて、
2:06:27	付けるのであればもしその各断層の最後にまとめをつけるのであれば、1枚、多くても2枚ぐらいかなと思ってた方で、ちょっとこの、301 ページ以降の資料は、もうちょっと詳細に書かれてるんで、ちょっとそれだけだと解決しないかなと思いますんで、少し
2:06:47	我々の方でも検討して、なるべく早い段階でお伝えできればと思っていますがいかがでしょうか吉田さん。
2:06:57	はい。志田です。我々もこれ、わかりやすく伝えることが目的なものですから、我々も早急にちょっと全体、考えますが、松村さんの方も、
2:07:08	両案がありましたら、また、ちょっと早めに教えていただければと思います。お願いします。以上です。
2:07:35	規制庁甲斐です。ちょっと話を変えましてこれちょっと
2:07:40	確認というところで、
2:07:42	4-13 ページをお願いします。
2:07:49	これ本当にただの確認だけなんですけれども、
2:07:53	これ、タイトルは切り合い関係による新旧関係の検討。
2:07:58	ということで、
2:08:00	書いてありますと。
2:08:02	で、
2:08:04	ただこの写真の下に検討結果って二つ箱があって、
2:08:09	左側気合い関係の新旧検討で、
2:08:13	右側は、
2:08:14	例えば深部方向の連続性のようなことも書いてあって、
2:08:20	これ、4、この右側のこの箱っていうのは何どういう意味を持ってるのかちょっと。
2:08:26	教えてください。
2:08:30	北陸電力石田です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:32	こちらはですね、もともとの選定と海域の、この取水量付近の長座一緒にやっています、K-22 という断層が、
2:08:42	ちょうどこの炉外駅の方に層厚延長させていくと。
2:08:46	伸びていくような関係にあったという。
2:08:50	ことがあります。で、コメントの中で、このK-22 でと、経営の計画がちょうど、
2:08:57	ぶつかるものですから、その切り合い関係、深部方向への断層分布の関係を確認してくださいというコメントがありまして、
2:09:06	いわゆるこれは深部関係のコメントということで、今回このステップ1の切り合い関係による新旧検討の中で、以前、整理させていただいたという経緯がございます。今回新たに、
2:09:18	新たにとか再整理し直す中で、
2:09:21	基本的には深部方向への切り合い関係というものは直接選定には使っておりませんで基本的には炉外で直接、
2:09:30	老眼を確認できる、この4ヶ所が、ステップ1の切り合い関係に使っているのがメインの資料として使われていて、このK4K5K22の深部方向の断層分布に関する検討での補足資料に、
2:09:43	飛ばしておりますがこの補足資料への、
2:09:48	紐づけという意味でここに残しているんですけども、ちょっと上の文章からはそれがちょっと読めないというところがございます。
2:09:56	ちょっとこの辺の書き方については、一度、
2:10:00	わかるようにちょっと、
2:10:02	聞きたいとは思いますがそういった経緯で、高齢が書かれております以上です。
2:10:09	はい海田ですわかりましたじゃちょっとそこは書きぶりを工夫していただいて、
2:10:14	ちょっとわかんないような状態になってますんでわかるようにしていただきたいと思っておりますよろしく申し上げます。
2:10:21	それとあと、
2:10:23	飛びまして
2:10:26	5-109 ページお願いします。
2:10:31	これは単に本当資料の構成の、
2:10:37	話で、
2:10:39	可能であればっていうことで、
2:10:41	ぜひやっていただきたいんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:44	これ今、ステレオネットと、
2:10:46	地形図が 90 度、
2:10:50	違う方向を向いててちょっとこう、ステレオネットとこの図でこう、
2:10:56	小頭で考えたときに
2:10:59	わかりにくいので、
2:11:01	向きをそろえるということとはできないですかこれあんまり向きそろえると、ここに入りきらないん。
2:11:07	のか何か、ちょっとこう意味があって、
2:11:09	個別の方向を向いてるのかっていうところ。
2:11:13	なんなんですけれどもこれいかがですか。
2:11:18	北陸電力の木村です。この図の向きを、北方向の向きが、ちょっと合っていないってのはちょっと資料上わかりにくいと思いますので、税抜きそろえることができますので、
2:11:32	そのように修正したいと思います。以上です。
2:11:37	はいそこはこれもわかりやすさの観点だと思いますよろしくお願いします。
2:11:45	あとこれも確認ですね。
2:11:49	5-299 ページをお願いします。
2:11:57	これ何度か多分出てきたんでだと思っんですけどもちょっと今更ながらってところもあるんですが、
2:12:03	凡例にある、連続性のない伏在断層って、これは図中にこれあるんですかちょっと見当たらないんですけれども、これは
2:12:14	あるんであればどれかっていうのをちょっと教えていただきたいんですが。
2:12:37	北陸電力 1 社です。
2:12:39	この連続性のない伏在断層については、碁盤島沖断層、
2:12:45	なんなんですけれども 5 番長期断層基本的には、北東、南西走向、
2:12:50	に走ってるんですけれども、ちょうど真ん中ぐらいに、
2:12:56	N S 方向ですね、N S 方向の一つだけ、伏在断層がありましてこれは連続性のない伏在断層でしてこれのことを示しております。以上です。
2:13:07	はい。海田ですわかりました。
2:13:10	そうすると何か判例だと伏在断層の印と連続性のないだ、伏在断層だと。
2:13:19	線の太さが違ってたり、
2:13:22	無線のなんていうか、この時の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:25	幅も違うんで
2:13:27	別物があるのかなと思って探してたんですけど。
2:13:32	おなじものなんだけど、並べて書いてあったら伏在断層で1個しか書いてなかったら、連続性のないだ、伏在断層。
2:13:41	ということ。
2:13:42	ということっていうんだというふうに今ちょっと説明を聞いて思ったんでちょっと印は合わせていただきたいと思うんですけど、よろしいですか。
2:13:52	パブリック電力1社です。おっしゃる通りちょっと凡例が、
2:13:56	動作が確かに違うように見えるものがちょっとわかりにくくなっていますので、ちょっとこちら適正化図りたいと思います。以上です。
2:14:08	はい、では、その点よろしく申し上げます。
2:14:26	ちょっとは、ちょっと補足の2分の1の方お願いします。
2:14:34	補足の2分の1の方で、
2:14:39	海田です。補足の2分の1の方お願いします。1-1、1.1の
2:14:46	1-6ページ。
2:14:55	これ
2:14:57	1.1-1、アイホン、6ページで地すべり、
2:15:02	地形分布図、
2:15:04	防災科研2001っていうところの、この
2:15:08	地すべり分布が云々というところは、
2:15:10	特に何もありませんけど、
2:15:13	この敷地境界の線なんですけど、
2:15:16	これ今まで
2:15:18	本編資料とかで説明されている線と、また別なので、
2:15:25	これを合わせたほうがいいと思うんですけどこれよろしいでしょうか。
2:15:31	はい。北陸電力の野原です。これ、失礼しました。
2:15:35	この資料の敷地のセンターを合わせたいと思います。
2:15:39	以上です。
2:15:41	はい。海田ですじゃ、よろしく申し上げます。
2:15:45	あと
2:15:49	ちょっとこれは
2:15:51	中身の話になるかな。
2:15:54	2.4-1の、
2:15:57	33ページ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:05	お願いします。
2:16:10	ちょっと今から確認したいのは同じ趣旨のことが何、幾つかのページにあるんですが、
2:16:18	2.4-1-33 ページの一番下ですね、
2:16:24	D-9.1E っていうコアとかあと例えば、次の
2:16:30	ページの、
2:16:33	これも一番下 9.1E ってやつもそうなんですけど、
2:16:42	破碎部の、
2:16:44	周りとかに、
2:16:47	破碎部の中が、鉱物脈みたいな白いのがあって、
2:16:51	これっていうのは
2:16:54	S2S6 などで、そういったものは切れてないというお話だと思うんですけども、
2:17:02	これ、一見すると、ちょうどこのSESロックの、
2:17:06	ところで、こういった白い脈みたいなのが、
2:17:11	ちょっと途切れているようにも見えたりしてます。
2:17:15	同じようなのが 2.4-1-54。
2:17:29	を、14、
2:17:33	これはちょっと線が重なっててわかりにくいんですけど、F-7.0 っていう上から 2 番目のやつ。
2:17:40	これもちょっとよく関係わからないんですけど宮区みたいなのがあって、
2:17:47	S8 っていうところで、
2:17:49	途切れてるのか、途切れてないのか。
2:17:53	ていうのであとついでに言うと、
2:17:59	これはいいかな。
2:18:00	79、
2:18:02	2.4-1-79 ページの、
2:18:06	左側の写真。
2:18:08	これはあれか。
2:18:11	60.6 のところの、
2:18:15	ここ、これは跨いでるように、
2:18:18	これがちょっと脈なのかわからないんですけど、
2:18:21	ちょっと先ほど申し上げた 333、例えば 33 とか 34 ページっていうのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:29	今まで破碎部中の、に脈があって最新面を
2:18:34	との関係ってというのは今まで何か
2:18:37	第1回の現地調査とかで
2:18:42	確認をし、お願いしてて、
2:18:45	そういうそういった資料も出てきてたので
2:18:48	多分こういったところ、確認はされてると思うんですけど。
2:18:52	これは
2:18:53	鉱物脈なのかとか、鉱物脈なんだけど、
2:18:59	これが切れてるんじゃないんだっていうところは確認されてるっていうことで、
2:19:04	いいんですかそれともちょっとこの辺は特に確認はしてないのかとか、ちょっと状況を教えていただきたいんですけども。
2:19:14	北陸電力1社です。
2:19:16	おっしゃられるように、元詳細1回目の現地調査で、そういったものがないかというコメントを受けまして、
2:19:23	でも、この
2:19:24	載っている性状につきましては、一通り確認して、確認できたものが一度コメント回答で、
2:19:31	答えていまして、補足資料の方にも、補足資料の5.3-2。
2:19:38	この234以降にその資料を整理させていただいています。
2:19:42	今おっしゃられた海田さんがおっしゃられたものというものは、ここには記載されていないものばかりだったんですけども、
2:19:54	ちょっとこれについて今すぐちょっと、
2:19:57	回答することができないんですけども、ここに今載せていないということは、一応鉱物脈として判断していないと。
2:20:04	いうふうに、
2:20:06	考えております。
2:20:08	で、最後ちょっとあった、79ページの方にあったもの、グレーのものですね。あれにつきましては、
2:20:17	主水路の工事のときに、
2:20:20	入っていたグラウトと判断してまして、あれについては鉱物脈ではないというふうに判断しておりますけれども、最初の方にありましたSE S 6Kの、
2:20:29	ちょっと変質したように見えるようなものについては、ちょっと確認させていただきたいと思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:37	はい。海田ですわかりました。最後のクラウドだっていうのはこれも現地で幾つかクラウドがあったっていうのを確認してまして、
2:20:47	他の今申し上げたSES6の、
2:20:51	こういうやつとかについては、ちょっとこれは
2:20:55	衛藤、とりあえず、状況今すぐにはわからないということなんでまた
2:21:01	教えていただきたいと、いうふうに、
2:21:06	思います。結論としては以前のような話であれば、
2:21:11	最新目を横断するような、
2:21:14	鉱物脈が見つからなかったというところもありますし、切られてるのも敷地内ではなかったということだったと思うので、
2:21:24	その辺ちょっと、
2:21:25	状況をまた確認さしてください。
2:21:29	以上です。
2:21:56	宮脇です1点だけ補足資料の、
2:22:04	有識者会合の
2:22:11	5-1、16ですね。
2:22:15	この人、補足資料の2-2ですね。
2:22:21	5-17-1-5。
2:22:24	次のページにあるところは、
2:22:28	有識者会合の
2:22:34	まとめ、
2:22:37	評価結果を記載されてるんですけども、
2:22:41	ここの表んはですねいきなり
2:22:45	今後の課題というのから入って、
2:22:50	それ一で、結果がどうなったかというふうなことを示していますが、
2:22:57	このゆこの絵も最初の欄にですね
2:23:02	今後の課題という範囲に多分有識者による
2:23:08	評価、評価っていうのがあったと思うんですね。それに対して、課題っていうのが、
2:23:15	あるんだと思うんですけども、有識者の評価っていうのをに入れていただけないですかね。
2:23:38	ないですか。堀部の木村です。
2:23:41	5、17-1-3ページ。
2:23:46	ご覧いただきますと、
2:23:48	ここの一番最初の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:51	文章ですけど、U社会合は、
2:23:55	S1及びですねSURCの活動性について、以下の通り評価しているって いうことで、
2:24:00	三つポツ書いてありますけども、
2:24:03	これがU社会合の評価ということで、
2:24:07	ここに、
2:24:09	上の二つは、S1とS s - Fの評価ですけども、
2:24:13	で、
2:24:14	三つ目のポツに、
2:24:17	今回の評価が限られた資料やデータに基づいて行われており、より正確 確実評価にするためには今後の課題に示すデータ等の拡充が必要と考え ると、
2:24:27	このように書いております。
2:24:29	なのでここに入社介護の評価と、あと今後の課題のことについて記載 を、
2:24:36	させていただきます。以上です。はあ。
2:24:40	これは
2:24:42	例えばS1ならS1全体の
2:24:46	評価、
2:24:49	としてコメントが取りまとめられているという、
2:24:54	ことだと思っんですけども
2:24:57	多分、個別に、多分、
2:25:01	有識者指摘された事項っていうのが、
2:25:06	各地点ごとにあるんだと思っんですけども、それに対して、
2:25:12	へえ。
2:25:13	課題が、
2:25:15	生じてるっていうふうな
2:25:17	ことだと私は認識したんですけども。
2:25:20	そういうふうな
2:25:23	スクリーンじゃないんですか。
2:25:31	すみませんヨシダです。おっしゃる通りですね先ほどの少し本資料の 方、
2:25:36	見ていただいて5-303 ペイジーを少し、
2:25:41	開いていただくとすみませんあっち行ったりこっちで、
2:25:44	これスーチー、先ほど少し紹介しましたがS1の評価のまとめですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:49	ここでグレーで書いた四角があります。これが
2:25:55	先ほどのページで数値の評価の結論に至るまでの、ここの評価を書きます。例えば、上載地層法の最初の一番上が旧A Bトレンチの個別の
2:26:07	評価です。その下は、駐車場南側法面という形で、こういった形で
2:26:15	ここに書いたんですが、これもですね、今の
2:26:20	補足のほうにも、
2:26:22	もし細かく、
2:26:24	記すような形で、
2:26:27	いたしましょうか、いかがでしょうか。うん。
2:26:31	確かにこれの全体の各個別の評価の結論が今ほどの、
2:26:36	この17-1-3ページの、今ほど木村が申した三つの場、
2:26:40	②、少し最終的なもの、飛んでるもんですから、
2:26:46	そうですねそういう対応関係こういう
2:26:50	指摘があって、こういう課題が生じ、
2:26:53	して実施した結果こうなったっていうふうな流れに、
2:26:58	なっていた方が理解しやすいかと思うんで、
2:27:01	そういうふうにまとめていただけないでしょうか。
2:27:07	はい。吉田です。はい。そのように、少し細かく、
2:27:12	いろんな記載する方向で修正します北陸電力の野原です。
2:27:18	5、17-1-8ページ。
2:27:22	こちらに例えば、今S1に関する
2:27:26	同じ記者の評価の概要ということで、
2:27:30	まとめておりますし、
2:27:33	S E S6につきましても、5、17-1-30ページ。
2:27:39	こういったものをまとめてございます。
2:27:43	こういったようなものを前段に持ってくるという、
2:27:49	どうぞよろしいでしょうか。そういうイメージです。
2:27:58	この
2:27:59	後、有識者会合による今後の課題の、
2:28:03	飛田左側の欄に持ってくると。
2:28:20	はい。北陸電力の野原です。
2:28:23	例えば5、17-1-8ページ、こちらはS1の入居評価の
2:28:28	有識の表カート当社の評価を照らし合わせたような書き方をしていますが、
2:28:33	こちらから例えば有視界の評価だけを抜粋したようなものを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:28:38	先ほどの、
2:28:42	5. 17の1-3ページの後くらいに、
2:28:47	後に載せるような、
2:28:49	そのようなご趣旨でよろしいでしょうか。
2:28:55	はい。私はそう考えたんですがちょっと
2:29:01	うちでもちょっと検討した上でまた、
2:29:04	連絡させていただきたいと思います。
2:29:10	はい。北陸電力の野原です。わかりました。
2:29:14	こちらはまた考えますがもし何かありましたらまたよろしくお願ひします。はい。以上です。お願ひします。
2:29:59	野田ですけど、野村さんご説明ありがとうございました。
2:30:03	いずれしても、少し我々の方でも、今の宮脇さんからのコメント、コメントを踏まえて、どういった対応があるのか、
2:30:14	考えてみたいと思います例えば、先ほどご説明いただいた後の17-1-8、S1に関する調査検討結果の概要というところでも、有識者評価ということであるとか、
2:30:27	その下の方ですと今後の課題ってということが書かれている。
2:30:31	もしかしたら例えば、これをうまく、
2:30:36	5-17-1-5ですかね、評価結果の概要とうまくひもづければその辺が、もしかしたらわかるようなのかなと、今多分この1-8がどこも紐づいていないんで、
2:30:48	何か解決策は、
2:30:51	あるんじゃないかと思うんで、いずれも新たな資料を作成する必要があるかないか、今はもう資料でうまく解決できないか、我々の中でも少し検討して、
2:31:05	お伝えできればと思います。
2:31:46	規制庁の海田です。
2:31:48	特に今の点についてなければ、ちょっと別の確認をしたいと思ひますけどいかが、よろしいですか。
2:32:02	北陸電力藤田です。進めていただいて結構です。
2:32:11	規制庁の海田です今の所ちょうど今の、
2:32:15	ところを見てて
2:32:17	気づいたんですけども、何ページか田子後の5.17、
2:32:23	-1の47ページ。
2:32:27	これ先ほど私申し上げた氷見とネットと、地図が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:32:33	向きが違うんでそろえていただきたいと言ったのは、ここにもあったんでこれも同じように多分ご存知、お気づきとは思いますが、念のためここもお願いしますということ。
2:32:46	お伝えしておきます。
2:32:50	はい。堀部目黒ノハラです。承知いたしました。
2:32:54	以上です。
2:33:06	規制庁海田ですねちょっとコメント回答の資料の方で、これも確認。
2:33:12	なんですけれども、
2:33:19	あれなんだ。
2:33:21	13 ページをお願いします。
2:33:29	これいずれもわかるかと思うんですけど、ちょっと現段階で確認なんですけど、
2:33:37	現地調査で、
2:33:40	福浦断層の確認位置っていうのを改めて、
2:33:45	確認しておいてくださいよということをコメントさせていただきました。で、
2:33:53	例えばこの公園週 2 なんてちょっと
2:33:57	三田美瑠幹事ちょっと、
2:34:00	ちょっとあんまりこう破碎の程度も、どうかなみたいなところで再検討、
2:34:05	されてるかと思うんですけどこれ今、現状でここも福浦断層としてこう線が書いてあって、
2:34:13	それをもってこう分析注文中で、
2:34:16	出ていると。
2:34:18	これもなので現状福浦断層で評価されてる万位維持されてるということで、
2:34:25	だからコウイズなってるってことでよろしいですかそれちょっと確認なんですけど、
2:34:34	F L I P 電力の小林です。衛藤遠藤衛藤。
2:34:39	検討してるところであります、一応
2:34:42	評価としましては、こちらも松倉断層として考えると、破碎部、ちょっと浅田薄井ということがございますが、方向性であったり、あとは連続性といったことも含めまして、
2:34:56	福村断層として評価すると。
2:34:58	いう方向で考えております。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:35:03	はい。はい、規制庁の海田ですか。わかりましたじゃ
2:35:07	総点承知しました。
2:35:11	あとこれも念のための確認なんですけど、18 ページ。
2:35:19	のところで
2:35:22	19 ページに、9 前回の確認さしていただいて、
2:35:27	ちょっと物性が密度が違うの断層なのに、
2:35:32	高いけれどもってところの関連なんですけれども、
2:35:38	結局その辺は、密度云々は置いといて例えば 18 ページとかで、
2:35:47	ずーっとこうたどっていくと必ずそこまで S4 っていうのが行き着くって いうのが、
2:35:53	岩盤で、
2:35:55	確認されてるんということいいんですかねこれ今スケッチありますけど 写真、
2:36:03	ていうのは、中、ないんですけども、ここあそこまで S4 が
2:36:08	実際やっぱ繋がってんだっていうのは、
2:36:10	確認されてるということで、
2:36:14	いいですね念のための確認です。
2:36:23	P E E K 電力の木村です。今ほどの患者さんおっしゃられたのは、S4 が、このブロックサンプリングの位置までちゃんと届いてるっていう、
2:36:34	それをちゃんと確認しているという、
2:36:37	ご趣旨でよろしかったでしょうか。
2:36:40	すいません確認です。はいそうです新北面で、
2:36:44	上載層等の関係を見たところ、ブロックサンプルを取ったところまで、 確かに S4 が、
2:36:50	繋がってるっていうのは、確認はされてる。
2:36:55	何かという趣旨です。
2:37:18	3 物件、
2:37:22	北陸電力の木村です。
2:37:26	そうですね
2:37:27	きちんと露頭でちゃんとこの位置まで、断層が連続しているということ を確認してはおりますが、それがそれを示す写真がちょっと、
2:37:40	資料上、
2:37:41	わかるような形で、示されて、
2:37:45	ないので、ちょっとその 21 ページとか、
2:37:50	ですね、この

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:37:52	21 ページにちょっと、
2:37:55	引いた写真をつけておりますけども、ここで、S4 が、この位置まで連続しているということを確認しておりますので、
2:38:05	それがわかるような資料にちょっと、
2:38:09	修正したいというふうに思っております。
2:38:13	以上です。
2:38:15	はい海田ですわかりました。そうですね写真つけて
2:38:20	これぞS4 だってわかるような例えば、底盤とかなんですかね。
2:38:25	そっから繋がってんだっていうのを何、見える形で、
2:38:30	つけておいていただいた方が、
2:38:34	これってやっぱりS4 なんだっていうのがずっとわかりやすいと思いますので、
2:38:39	よろしくお願いします。
2:38:43	私から以上です。
2:39:08	はい。衛藤。規制庁の大井ですけど、審査側からはコメントは以上となりますが、
2:39:14	北陸電力の方から何かございますでしょうか。
2:39:26	北陸電力藤田です。事業者から、追加での確認事項は、今のところございませんので、
2:39:33	以上です。はい。ありがとうございます。それではですね、本日のヒアリングを終了させていただきます。お疲れ様でした。
2:39:42	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。